marantz®

Model PS5200 取扱説明書

AV Surround Amplifier

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されおりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、または最寄りの日本マランツ(株)各営業所にお問い合わせください。

本機の主な特長

6.1CH SURROUNDモード & 6CHハイパワーアンプ搭載

リアセンターチャンネルをもつ、新しいサラウンドフォーマットに対応する 6.1CH SURROUNDモードを装備し、制作者のサウンドデザインに忠実なサラウンド再生を実現します。また、このパフォーマンスを最大限に引き出すために、電源部には大型トランスを採用し、パワーアンプ部は全6チャンネル同一設計による完全ディスクリート構成とし、全チャンネル同一クォリティー、同一ハイパワー 135W (EIAJ 6Ω)を実現しました。

MPEG-2 AAC デコーダー搭載（AAC : Advanced Audio Coding）

BSデジタル放送の標準音声フォーマットである MPEG-2 AAC に対応するデコーダーを搭載し、5.1CHの映画や音楽、スポーツ中継などを臨場感豊かに楽しめます。

DTS／ドルビーデジタルデコーダー搭載

DVDビデオの音声フォーマットである DTSおよびドルビーデジタルに対応し、映画館と同じデジタル録音による高音質サラウンドを可能にしました。映画館や劇場での臨場感をご家庭でお楽しみいただけます。

ドルビープロロジックIIデコーダー搭載

ドルビーサラウンドで記録されたソフトはもちろん、CD等のあらゆる2CHステレオのソフトも5.1CH化し、優れた音場感をお楽しみいただけるドルビープロロジックIIデコーダーを搭載しました。

高性能 96kHz / 24bit DAC搭載。

また、高性能 96kHz /24bit D/Aコンバーターを搭載。96kHzのデジタル音声信号をダウンサンプリングすることなしに、高音質な再生を実現します。

デジタル出力端子装備

MDやCD-R等のデジタル録音機の接続に便利なデジタル出力端子を光・同軸各1系統装備しています。

プリプログラムド・リモコン付属

マランツだけでなく、主要メーカーのAV機器に対応するリモコンコードをあらかじめメモリーしたプリプログラムド・リモコンを付属しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。

  この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

- この機器を設置する場合は、壁から2.5cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2.5cm以上、背面から2.5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

警　告

● この機器の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

注　意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。

● ディスクの再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、またはテレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

注　意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス⊕端子とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

- 長期間使用しないときは、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池室についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

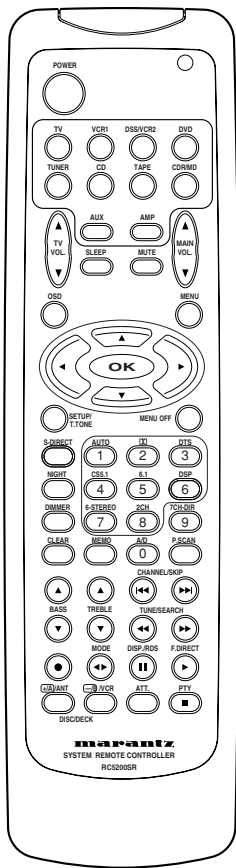
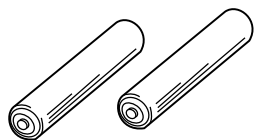
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic、ダブルD記号及び“ AAC ”ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSおよびDTS Digital Surroundは、Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

付属品の確認

下記の付属品が揃っていることを確認してください。

もし、不足している物がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社営業所にお問い合わせください。

リモコン（RC5200SR）

単４形乾電池　２個

保証書　１部（箱に貼付け）

愛用者カード　１枚

取扱説明書（本書）

目　次

各部の名称と動作

フロントパネル

① POWER（電源）/STANDBY（スタンバイ）スイッチ・表示インジケーター
このスイッチを押すと、本機の電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になります。
本機が電源スタンバイ状態の時にSTANDBY インジケータが点灯します 。

② PHONES端子（ヘッドホン端子）
ヘッドホン用の接続端子です。（48ページ）

③ ファンクションボタン
以下の再生する機器の選択に使用します。
TV、DVD、VCR1、DSS/VCR2、AUX、CDR/MD、TAPE、CD、TUNER（32ページ）

④ サラウンドモード 選択ツマミ
(AUTO, STEREO, 6CH STEREO, VIRTUAL, MATRIX, STADIUM, HALL, MOVIE, 6.1CH SURROUND, DOLBY PRO LOGIC, DOLBY PL II MUSIC, DOLBY PL II MOVIE, DTS)
サラウンドモードの切り替えに用います。（39ページ）

⑤ 7CH INPUT ボタン
7ch入力動作への切り替えに使用します。（33ページ）

⑥ A/D（アナログ／デジタル）切り替え ボタン
アナログ入力、デジタル入力の切り替えに使用します。（35ページ）

⑦ S-DIRECT（ソースダイレクト）ボタン
ソースダイレクトモードのオン・オフ切り換えに使用します。

⑧ SLEEP（スリープ）ボタン
スリープタイマー設定時に使用します。（47ページ）

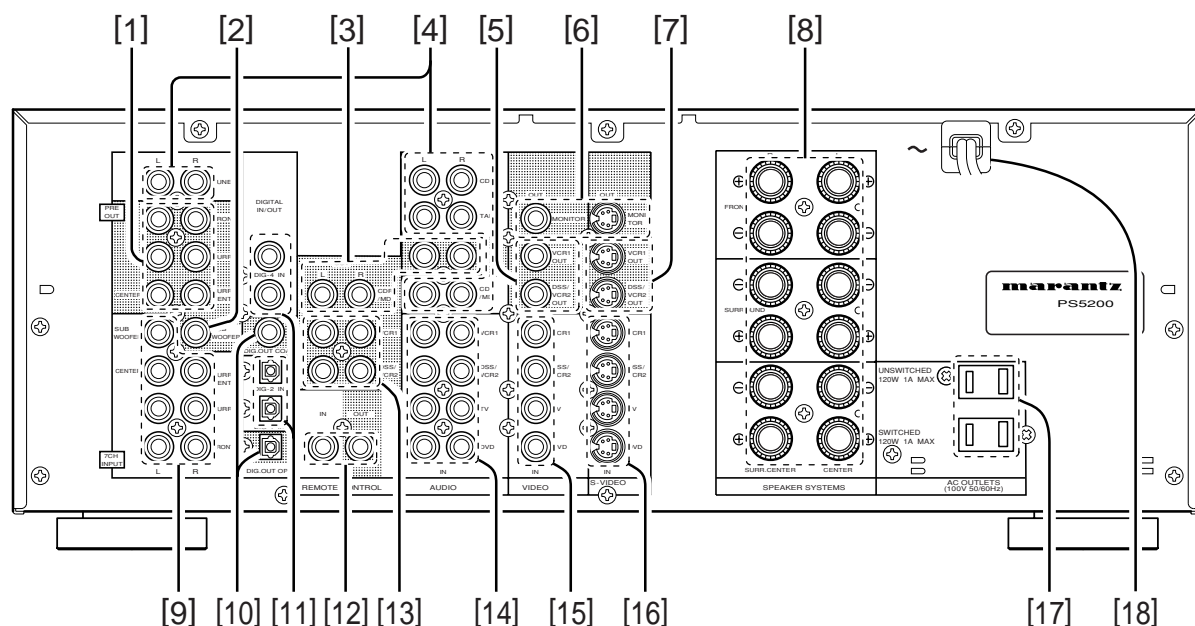
⑨ DIMMERボタン
前面表示の輝度変更、消灯、点灯の切り替えに使います。（49ページ）

⑩ VOLUME（音量調整）ツマミ
全体の音量調節に使います。
右に回すと音量が大きくなります。左に回すと音量が小さくなります。

⑪ MUTE（ミュート）ボタン
音量を一時的に消す（ミュート）動作の時に使用します。（49ページ）

⑫ AUX 入力端子
ビデオカメラ、ゲーム機等の接続に使用可能です。（10ページ）

⑬ リモートコントロール受光部
付属リモコンのコントロール信号を受光します。（20ページ）

背面パネル

[1]　プリアンプ出力端子（L,R,C,SL,SR,SC）
各チャンネルのプリアンプ出力です。外部パワーアンプなどを使用する場合に接続します。（17ページ）

[2]　サブウーファー用出力端子
サブウーファー用プリアンプ出力です。サブウーファー用の外部パワーアンプもしくはアンプ内蔵サブウーファーに接続します。（16ページ）

[3]　オーディオ機器接続端子 ： TAPE-OUT, CD-R/MD-OUT（音声信号出力）
録音用オーディオ機器（カセットデッキ、MDプレーヤー等）のアナログオーディオ信号入力（REC）端子接続します。（8ページ）

[4]　オーディオ機器接続端子（音声信号入力）
オーディオ機器（TUNER、CDプレーヤー、カセットデッキ、MDプレーヤー等）のアナログオーディオ信号出力端子に接続します。（8ページ）

[5]　映像機器接続端子（ビデオ信号出力）
録画用映像機器（ビデオデッキ等）のビデオ信号入力端子に接続します。（9ページ）

[6]　モニター用接続端子（ビデオ信号出力、Sビデオ信号出力）
TVやプロジェクターのビデオ信号入力端子及びSビデオ入力端子へ接続します。（10ページ）

[7]　映像機器接続端子（Sビデオ信号出力）
録画用映像機器（VCR等）のS-ビデオ信号入力（REC）端子に接続します。（9ページ）

[8]　スピーカー出力端子
各チャンネルのスピーカーを接続します。（15ページ）

[9]　外部7CH デコーダー用 ダイレクト入力端子（音声信号入力）
外部マルチチャンネルデコーダーやマルチチャンネルデコーダー内蔵DVDのマルチチャンネル信号出力端子に接続します。（13ページ）

[10] デジタル出力端子（光入力 ＆ 同軸入力）
デジタル録音機器（,CD-Rプレーヤー,MDプレーヤー等）のデジタル信号入力端子に接続します。
接続する機器の出力端子の種類に合わせて使用して下さい。（12ページ）

[11] デジタル入力端子（光入力 ＆ 同軸入力）
デジタル機器（DVD,CD,MD等）のデジタル信号出力端子に接続します。
接続する機器の出力端子の種類に合わせて使用して下さい。（12ページ）

[12] リモートコントロール入出力端子
他のマランツ製品と組み合わせてコントロールする場合に、相手先のリモートコントロール入出力端子に接続します。（18ページ）

[13] 映像機器接続端子：VCR1 - OUT、DSS/VCR2- OUT（音声信号出力）
録画用映像機器（ビデオデッキ等）のアナログオーディオ信号入力端子に接続します。（9ページ）

[14]　映像機器接続端子（音声信号入力）
映像機器（TVチューナー、DVDプレーヤー、ビデオデッキ等）のアナログオーディオ 信号出力端子接続します。（9ページ）

背面パネル （つづき）

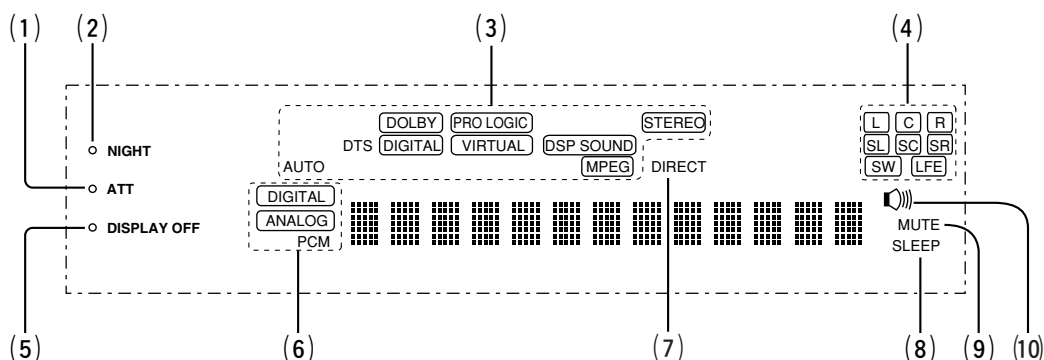
[15] 映像機器接続端子（ビデオ信号入力）
映像機器（TVチューナー、DVDプレーヤー、ビデオデッキ等）のビデオ信号出力端子に接続します。（9ページ）

[16] 映像機器接続端子（Sビデオ信号入力）
映像機器（TVチューナー、DVDプレーヤー、ビデオデッキ等）のS-ビデオ信号出力端子に接続します。（9ページ）

[17] ACアウトレット（SWITCHED & UNSWITCHED）
本機から他の機器へ電源を供給します。（19ページ）

[18] 電源コード
家庭用AC100V（50/60Hz）のコンセントに電源プラグを接続して下さい。（19ページ）

万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用下さい。

前面表示

(1) ATT：アッテネート表示
アッテーネート機能が働いている場合、点灯します。

(2) NIGHT： ナイトモード表示
ナイトモードを機能させた場合点灯します。

(3) サラウンドモード表示
選択しているサラウンドモードを表示します。

(4) プログラムチャンネル表示
デジタル入力信号を再生時、入力信号の記録チャンネル数を表示します。
2CH信号が入力された場合は L,Rが点灯します。
5.1CH信号入力時は L,C,R,SL,SR,LFEが点灯します。
6.1CH信号(DTS ES等）入力時は L,C,R,SL,SC,SR,LFEが点灯します。

(5) DISPLAY OFF ： ディスプレーOFF表示
ディスプレーOFF機能が働いている場合点灯します。

(6) 入力信号フォーマット表示部
入力されている信号のフォーマットを点灯表示します。
DIGITAL : デジタル信号が入力されています。
ANALOG : アナログ信号が入力されています。
PCM : PCM信号が入力されています。

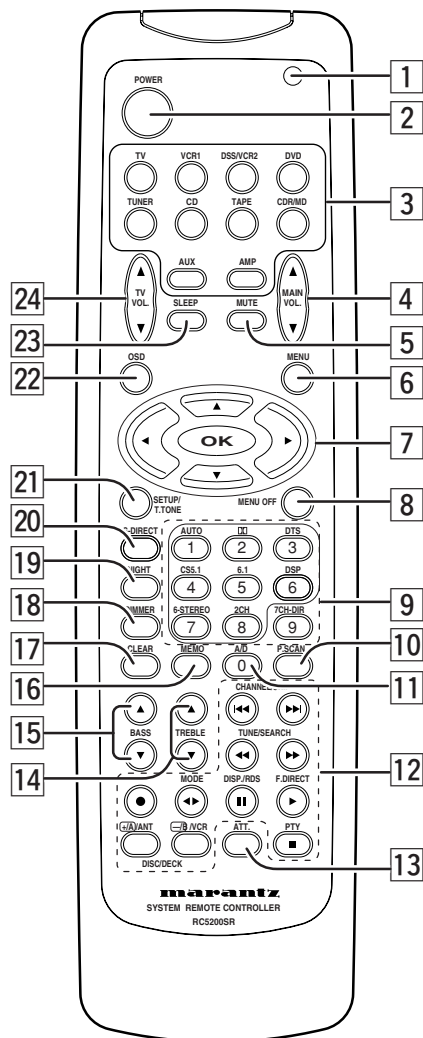
(7) DIRECT ： ソースダイレクト表示
S-DIRECTモードを選択した場合に点灯します。

(8) SLEEP ： スリープタイマー表示
スリープタイマー動作時に点灯します。

(9) MUTE：ミュート表示
ミュート機能が働いている場合、点灯します。

(10) スピーカー表示
ヘッドフォン端子をご使用でない場合は、常時点灯しています。ヘッドホンを差し込むと点灯表示が消えます。

リモコン

ボタン名称と機能

1 送信表示
各ボタンを押し、リモコンが送信を行っているときに点灯します。

2 POWER ON、OFFボタン
AMPボタンを押した後に、このボタンを押すと、本機の電源をON/OFFできます。

3 ファンクションボタン
音源を切り替えるときに使います。押した機器の操作ができるようになります。このリモコンで11種類の機器をコントロールできます。
アンプの機能(入力セレクター)を切り替えるときには、ボタンを2秒以内に2回押してください。
また、初期状態ではCDR/MDボタンは、CD-R機能になっています。MD機能に切り替えるには、CDR/MDボタンを押しながら、10キーボタンの２を押してください。
CDR機能に戻すには、CDR/MDボタンを押しながら、10キーボタンの１を押してください。

4 MAIN VOL. ボタン
本機の音量を調節するときに使います。接続されているスピーカーの音量は同時に変化します。

5 MUTEボタン
音声をミュートするときに使います。

6 MENUボタン
メニュー機能を利用するときに使います。メニュー機能を利用すると、本機の各種設定を変更することができます。

7 カーソルボタン
メニュー機能を操作するときに使います。

8 MENU OFFボタン
メニュー機能から通常の動作に戻るときに使います。

9 10キー/サラウンドモードボタン
各ソースの 1～9を切り替えるときに使います。
機能がAMPになっているときには、サラウンドモードの切り替えができます。ただし、CS5.1ボタンは本機では機能しません。

10 P.SCANボタン
このボタンは、本機では使いません。

11 0/ A/Dボタン
0を入力するときに使います。
本機がアンプモード時、入力信号のアナログ/デジタルを切り替るときに使います。

12 コントロールボタン
これらのボタンは、テレビやDVDプレーヤーなど操作を行うときに使います。操作の詳細は下表をご覧ください。

	TV	VCR	DVD	DSS	TUNER	CD	TAPE	CDR	MD
⏮ CHANNEL/SKIP	CH—	PREV	PREV	CH—	CH—	PREV	PREV	PREV	PREV
⏭ CHANNEL/SKIP	CH+	NEXT	NEXT	CH+	CH+	NEXT	NEXT	NEXT	NEXT
◀◀ TUNE/SERCH	—	REWIND	REWIND	—	TUNING—	REWIND	REWIND	REWIND	REWIND
▶▶ TUNE/SERCH	—	FF	FF	—	TUNING+	FF	FF	FF	FF
●	—	録画	—	—	—	—	録音	録音	録音
◀▶ MODE	—	—	—	—	MODE	—	再生方向切り替え	—	—
❚❚ DSIP/RDS	チャンネル表示	一時停止	一時停止	チャンネル表示	—	一時停止	一時停止	一時停止	一時停止
▶ F.DIRECT	—	再生	再生	—	周波数直接入力	再生	再生	再生	再生
+/A/ANT	ビデオ入力	TV/ビデオ	DISC＋	DSS/VCR	—	DISC＋	DECK A	—	—
–/B/VCR	ビデオ入力	TV/ビデオ	DISC＋	DSS/VCR	—	DISC—	DECK B	—	—
■ PTY	—	停止	停止	—	—	停止	停止	停止	停止

13 ATT.ボタン
入力した音声信号が大きく、音声が歪むときに使います。

14 TREBLEボタン
出力のTREBLE(高音域)の調整をするときに使います。
+/ー 6段階まで調整ができます。

⑮ BASSボタン
出力のBASS(低音域)の調整をするときに使います。
+/ー 6段階まで調整ができます。

⑯ MEMOボタン
このボタンは、本機では使いません。

⑰ CLEARボタン
このボタンは、本機では使いません。

⑱ DIMMERボタン
前面表示の輝度変更、消灯、点灯の切り替えに使います。

⑲ NIGHTボタン
夜間等に再生音のダイナミックレンジを押さえて、全体の音量を上げずに小さな音声を聞きやすくするときに使います。
ナイトモードの効果は、ドルビーデジタルのソフトによって設定されています。本動作に対応していないソフトには効果がない場合があります。

⑳ S.DIRECTボタン
ソースダイレクトモードのオン・オフ切り換えに使います。

㉑ SETUP/T.TONEボタン
各スピーカーからの出力バランスを調整するときに使います。AMPボタンを押して、このボタンを押すとSETUP3/3 SPKR LEVEL(スピーカーセットアップ3/3)のOSDメニューを表示します。(詳細は28ページ「出力レベルを均等にする」の項を参照してください。)

㉒ OSDボタン
OSDを表示させるときに使います。

㉓ SLEEPボタン
スリープタイマー設定時に使います。

㉔ TV. VOL.ボタン
テレビの音量を調節するときに使います。

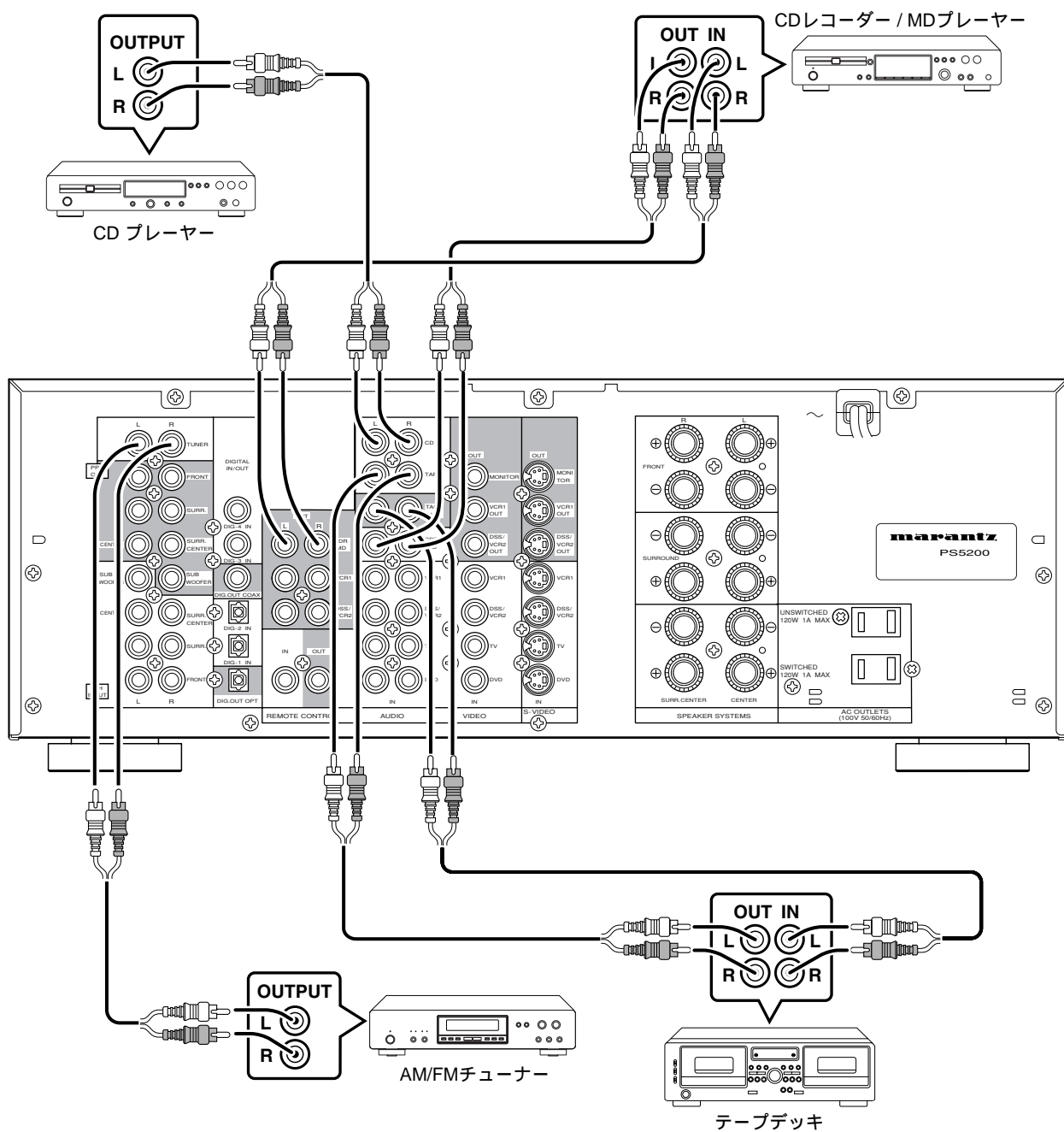
リモコンの操作については、「リモコンについて」(57ページ)の章もご覧ください。

準備と接続

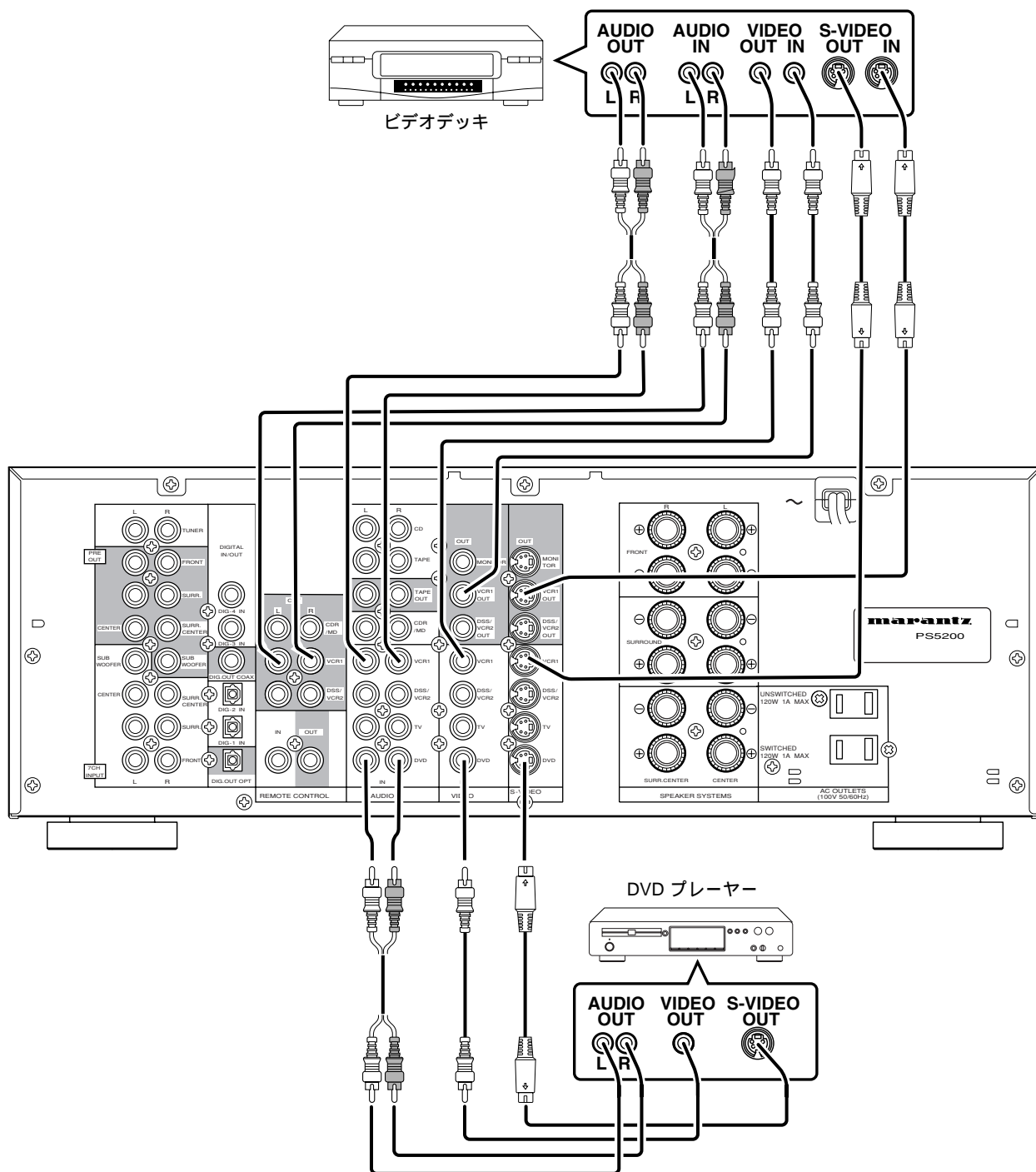
接続の前に

接続の前に、本機の電源及び接続する外部機器の電源は必ず切ってください。

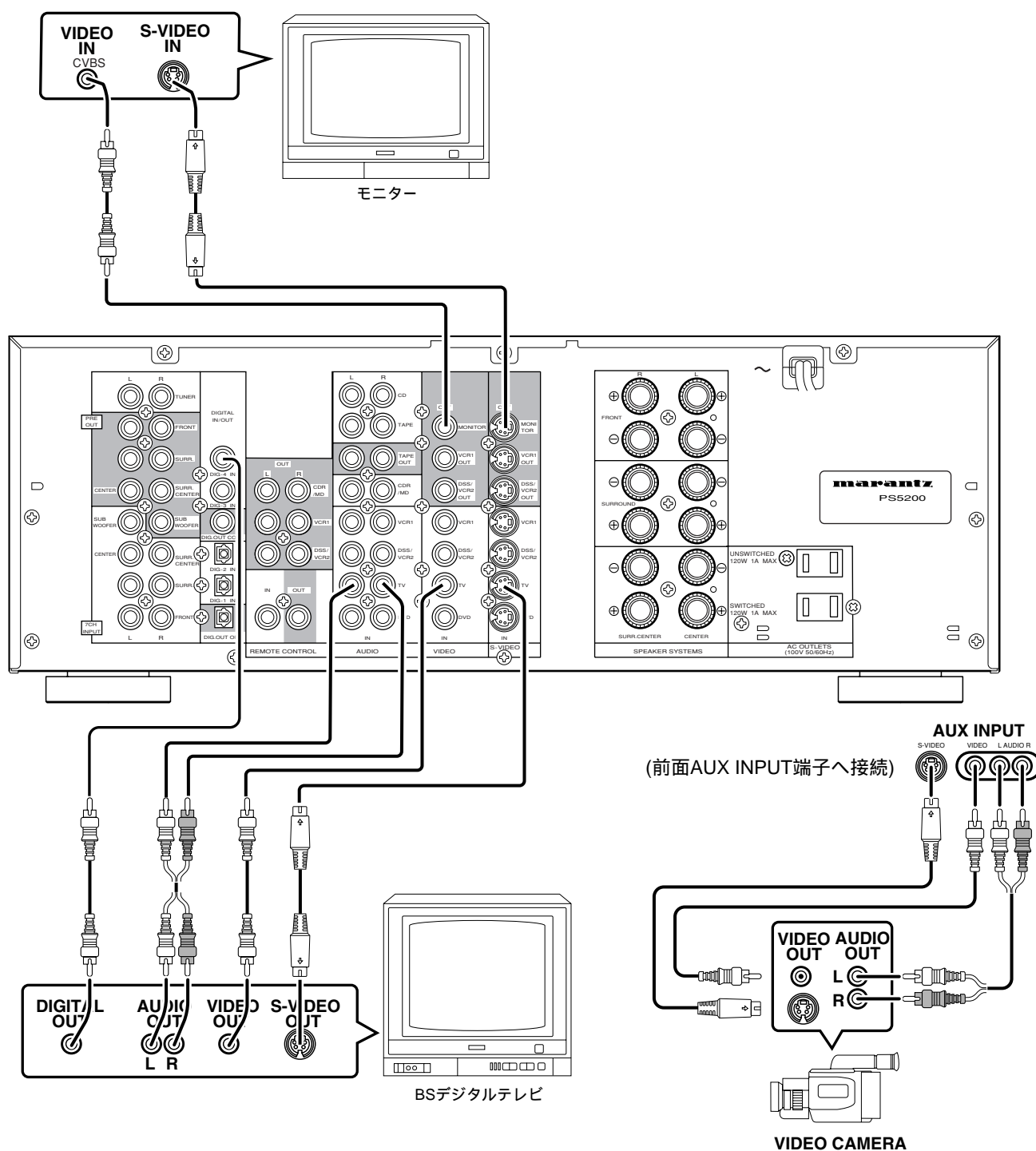
接続する外部機器によっては接続方法や端子名が異なる場合があります。各外部機器の取扱説明書でご確認ください。

オーディオ機器との接続

右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、入力(IN)、出力(OUT)を確認して正しく接続して下さい。
デジタル信号の接続は12ページを参照して下さい。

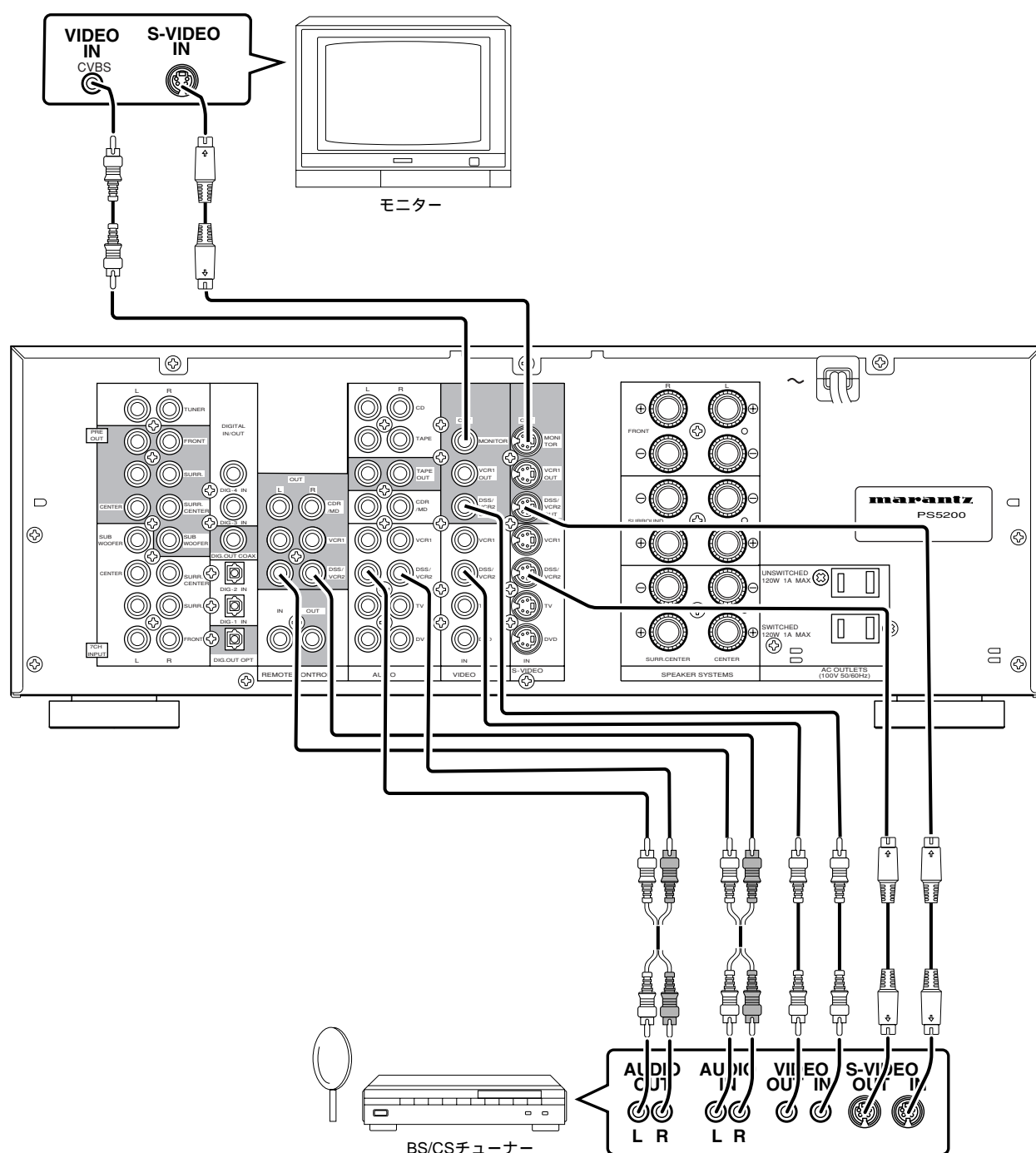
- TAPE-OUT端子、CD-R/MD-OUT端子には本機にて再生しているソースが出力されます。

ビデオ機器との接続

音声信号の右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、入力(IN)、出力(OUT)、やビデオ信号の入力(IN)出力(OUT)を確認して正しく接続して下さい。
デジタル信号の接続は12ページを参照して下さい。

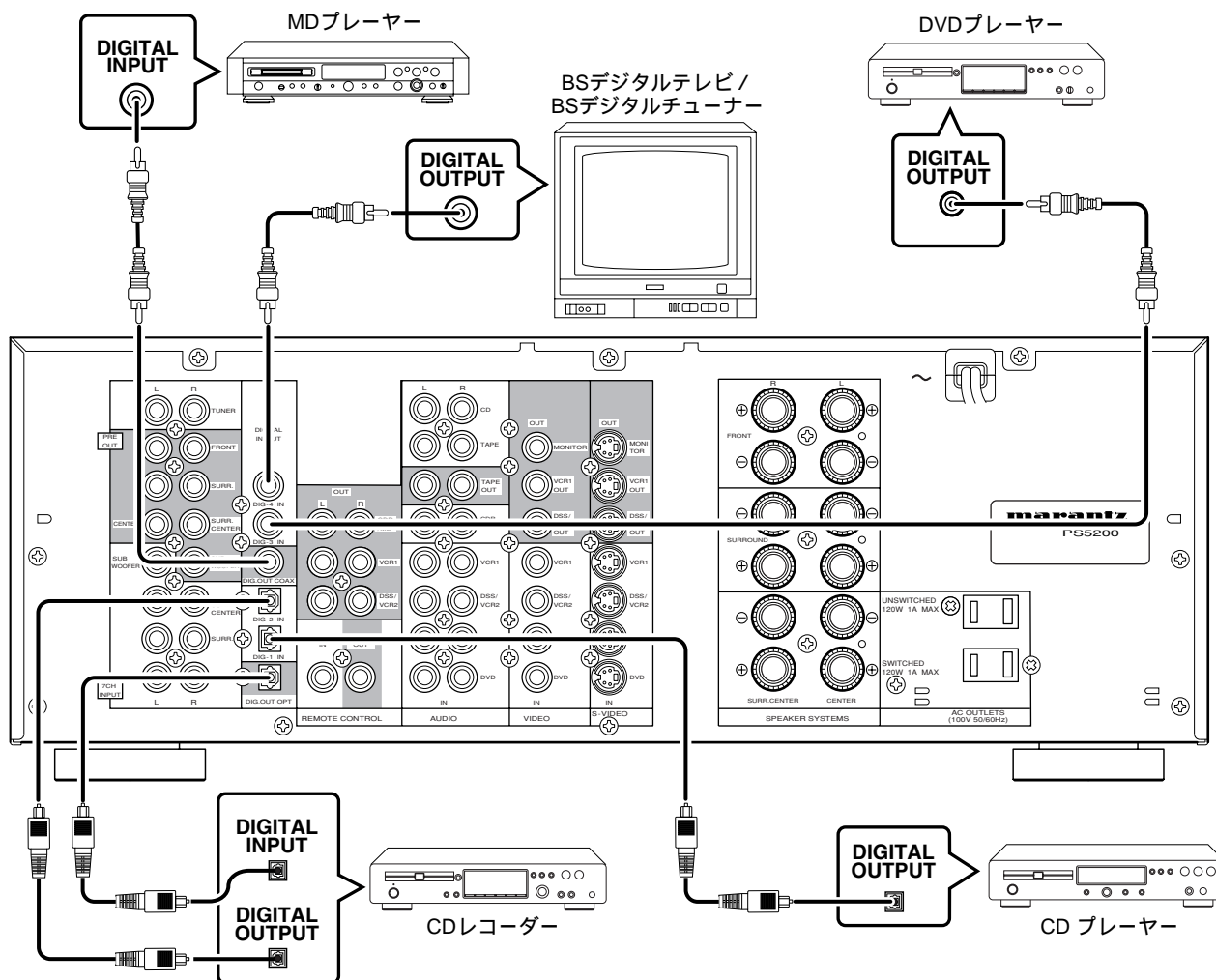
- Sビデオ入力の画像は、各Sビデオ出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT)のみに出力可能です。VIDEO出力端子へは出力されません。
  またVIDEO入力の画像は、各VIDEO出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT、DSS/VCR2-OUT)のみに出力可能です。S-VIDEO出力端子へは出力されません。
- 一つの映像機器から、Sビデオ出力とビデオ出力の両方を本機の入力端子に接続した場合、モニター用ビデオ出力端子に映像信号は出力されません。モニター用Sビデオ出力端子にのみ出力されます。

テレビ/モニター/ビデオカメラとの接続

音声信号の右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、入力(IN)、出力(OUT)、やビデオ信号の　入力(IN)出力(OUT)を確認して正しく接続して下さい。

- オンスクリーンディスプレーの画面はMONITOR-OUT端子のVIDEOおよびS-VIDEOにのみ出力されます。
- Sビデオ入力の画像は、各Sビデオ出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT、DSS/VCR2-OUT)のみに出力可能です。VIDEO出力端子へは出力されません。
  またVIDEO入力の画像は、各VIDEO出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT、DSS/VCR2-OUT)のみに出力可能です。S-VIDEO出力端子へは出力されません。
- 一つの映像機器から、Sビデオ出力とビデオ出力の両方を本機の入力端子に接続した場合、モニター用ビデオ出力端子に映像信号は出力されません。モニター用Sビデオ出力端子にのみ出力されます。
- TV 用のVIDEOおよびS-VIDEO入力端子には、これらの入力信号によって本機の電源をオンしたりスタンバイにする機能(TV-AUTO)があります。(53ﾍﾟｰｼﾞ参照)

BS/CSチューナーとの接続

音声信号の右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、入力(IN)、出力(OUT)、やビデオ信号の入力(IN)出力(OUT)を確認して正しく接続して下さい。

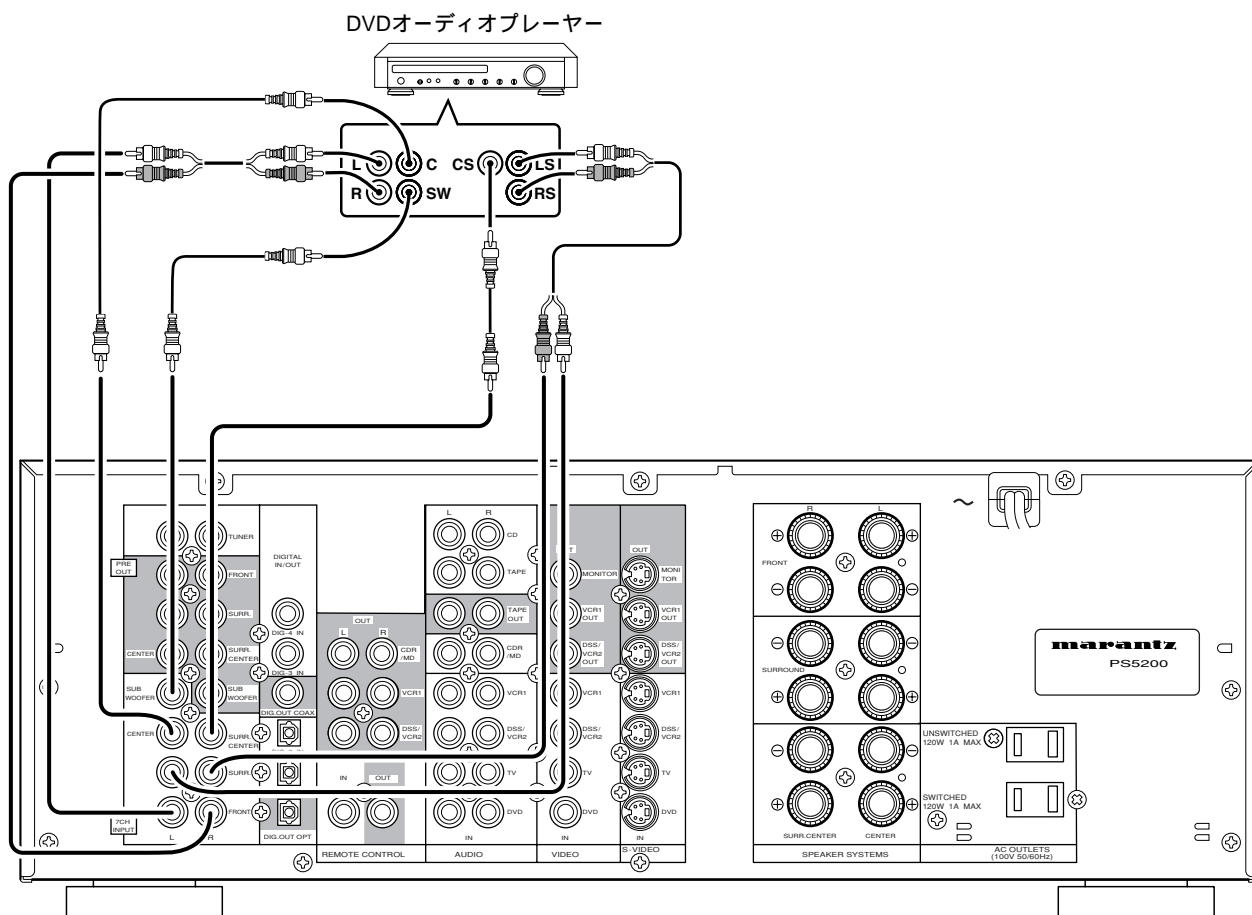
- DSS/VCR2-OUT端子には再生しているソースが出力されます。
- Sビデオ入力の画像は、各Sビデオ出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT)のみに出力可能です。VIDEO出力端子へは出力されません。
  またVIDEO入力の画像は、各VIDEO出力端子(Monitor-OUT、VCR1-OUT、DSS/VCR2-OUT)のみに出力可能です。S-VIDEO出力端子へは出力されません。
- 一つの映像機器から、Sビデオ出力とビデオ出力の両方を本機の入力端子に接続した場合、モニター用ビデオ出力端子に映像信号は出力されません。モニター用Sビデオ出力端子にのみ出力されます。

デジタル信号の接続

- 本機は、アナログ端子の他にデジタル信号を直接接続できるデジタル端子を4 端子装備しております。
（これらの端子はPCM信号、DTS信号、DOLBY DIGITAL MPEG2 ACC信号の入力が兼用です）
- BSデジタルテレビ／チューナー、DVDプレーヤーのデジタル出力フォーマットはそれぞれの機器で選択してください。詳しくはその機器の説明書をお読みください。
- DIG.１，２には光ファイバーケーブル(別売)を使用して下さい。DIG.３，4，にはデジタルオーディオ用ピンケーブル(別売)もしくはVIDEO用ピンケーブル(別売)を使用して下さい 。
- 本機のデジタル端子は、任意(CD,DVD,など)の入力切替に連動させることが可能です。
(25ページ：デジタル入力設定の項参照)
- LDプレーヤーのAC-3 RF出力を本機のデジタル入力端子に直接接続してもDOLBY DIGITALの再生はできません。
AC-3 RF信号を一旦外部AC-3 RFデモジュレーター機器に接続し、その出力を本機に入力して下さい。

デジタル信号接続例

上記接続例の場合システムセットアップの設定は、CD：DIG.1、CD-R：DIG.2、DVD：DIG.3、 TV：DIG.4、となります。

- DIGITAL出力端子にはDIGITAL COPY機能があります。(45ページ「デジタルコピー」の項を参照)
選択したソースをCD-RやMDへデジタルダビングすることが可能です。
またOPT,COAXの端子には同一の選択された信号が出力されます。
接続する機器にあわせて端子の種類を選んで下さい。
- デジタル端子とアナログ端子は独立している為、アナログ信号入力はアナログ出力端子へのみ、デジタル信号入力はデジタル出力端子へのみ出力されます。
よってアナログ信号を使ってのダビングやDVD－AUDIO、SACD等の音声を再生する為にはデジタル信号ケーブルだけではなくアナログ信号ケーブルの接続もして下さい。
- 本機のデジタル信号端子はEIAJ規格に基づき設計されております。
本規格を満たさないケーブルや再生機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。

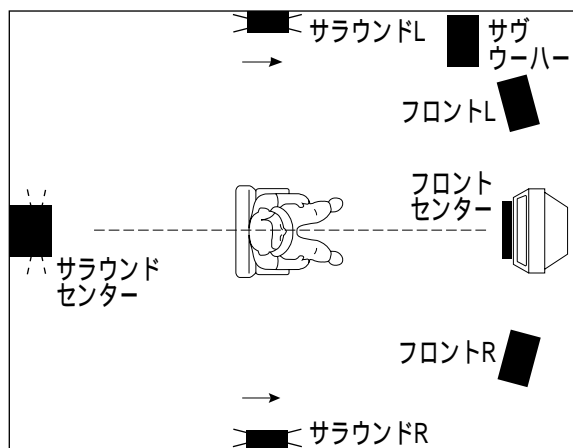
7チャンネル外部デコーダー入力端子の接続

- 7CH INPUT 端子に最大7CHまでの外部デコーダーや マルチチャンネル出力対応プレーヤー(DVDオーディオ、SACD)などを接続することができます。
- 本接続をする場合は、かならずシステムセットアップ1/2にて「7CH INPUT」の設定を行ってください。
  (上記接続例の場合　7CH INPUT ： ON と設定)
  詳細はシステムセットアップの項を参照して下さい。(24ページ)

スピーカーの配置及び接続

本機における理想的なサラウンド再生スピーカーシステムは　フロントL/R、センター、サラウンドL/R、 サラウンドセンター、サブウーファーの合計 7チャンネルです。
本機では使用するスピーカーの数や位置、また低音域の出力特性にあわせて設定をおこないます。
（26ページ　スピーカーセットアップの項を参照）

スピーカーの配置

スピーカーの配置は、実際、部屋の大きさなどによって違いますが、ここでは各スピーカーの基本的配置例と配置のポイントを説明します。

配置のポイント

フロントL/Rスピーカー
リスニングポジションから見てL とR のスピーカーが45 度〜60 度の角度を持つように設置することを推奨します。

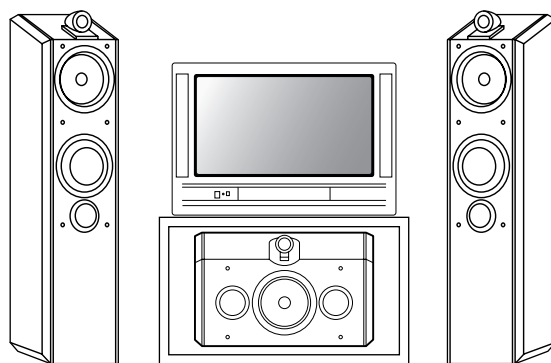
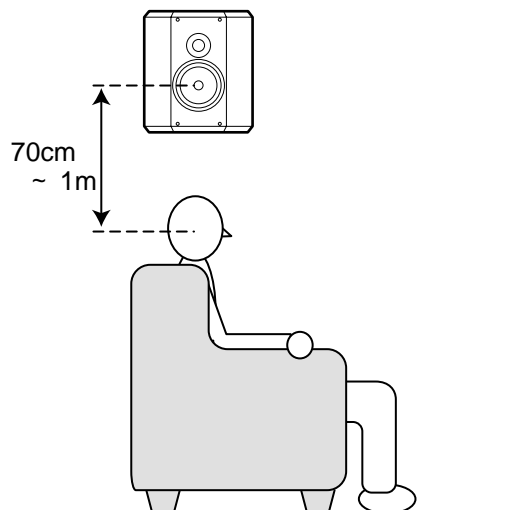
センタースピーカー
フロントL/R スピーカーと前面を揃えるか、またはわずかに後方にずらして設置します。

サラウンドL/Rスピーカー
座席の真横から手前に設置します。座席位置よりも後方には設置しないでください。

サラウンドセンター
座席の真後ろに設置します。

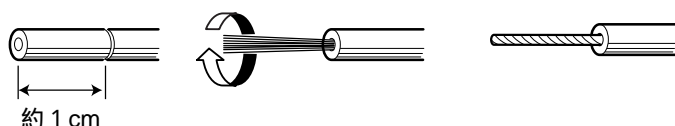
サブウーファー
低音の効果を最大限に得るために使用することをお勧めします。サブウーファーは低音域のみを扱う為、部屋の中であればどこに配置しても大丈夫です。

高さ

フロントスピーカー（L、R、センター）
3 つのフロントスピーカーの中・高域用ユニットはできる限り同じ高さに揃えます。
これは、センタースピーカーをテレビセットの真上、または真下に設置することを意味します。
このような場合、防磁型のセンタースピーカーを使う必要があります。

サラウンドスピーカー
場所が許す限り、リスナーより70 センチから1 メートル程上方に設置します。こうすることで音源定位を際立たせず、より包み込むようなサラウンド感を実現します。

スピーカーの接続

本機とフロントL/R、センター、サラウンドL/R、サラウンドセンターの各スピーカーとの基本接続について説明します。

・スピーカーコードを接続する際に、隣接した“ ＋ ”と“ − ”または“ L ”と“ R ”をショートしないよう十分注意して下さい。故障の原因となります。

・スピーカーコードは下図のように、被覆を剥いでください。

・接続する際、左右(L,R)のスピーカーや、“ ＋ ”(赤)、“ − ”(黒)を確認して、下図のように正しく接続して下さい。間違えて接続すると、再生音が不自然になります。

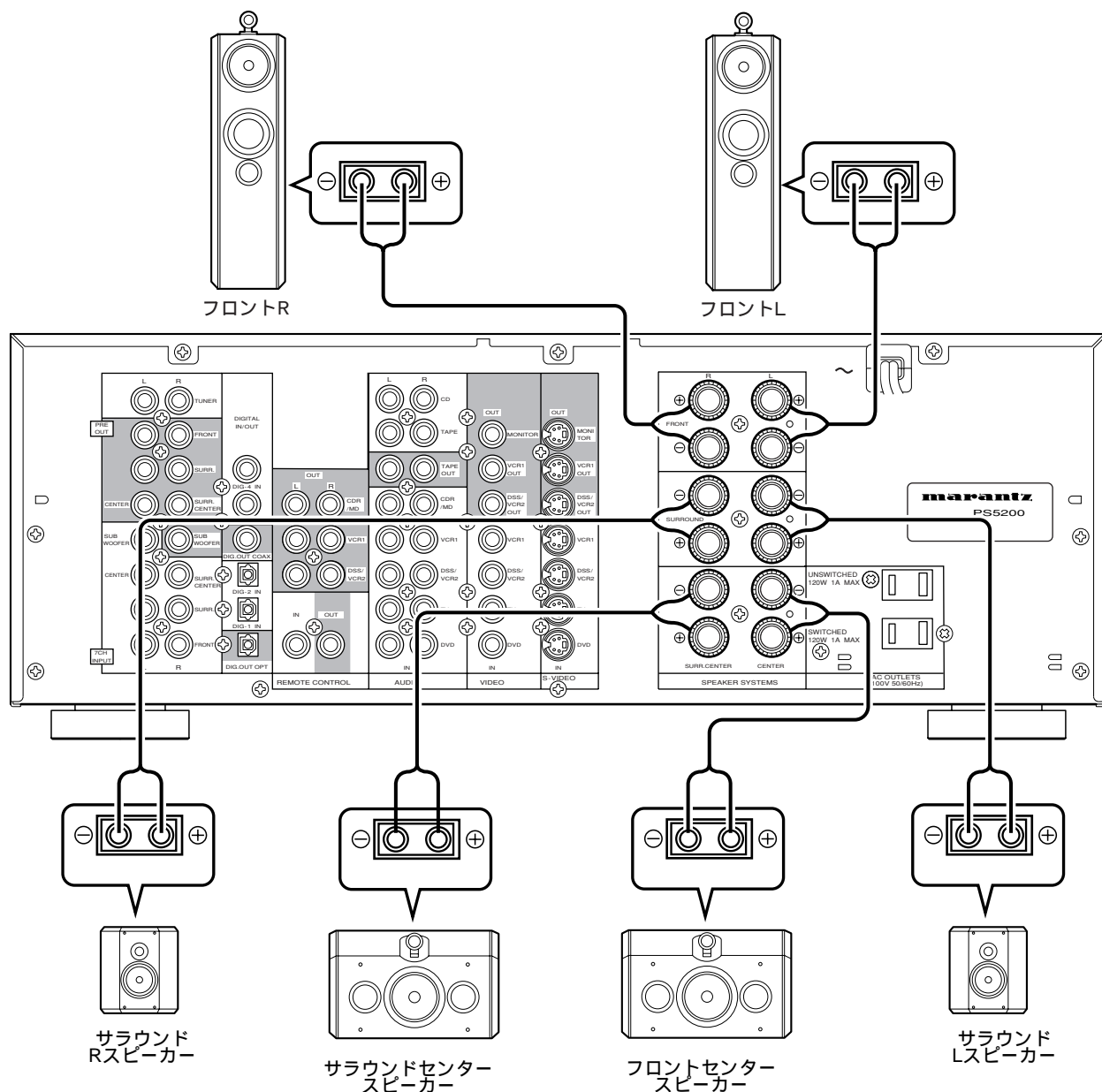
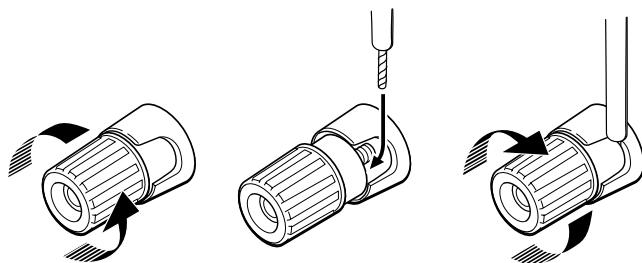
フロントR

フロントL

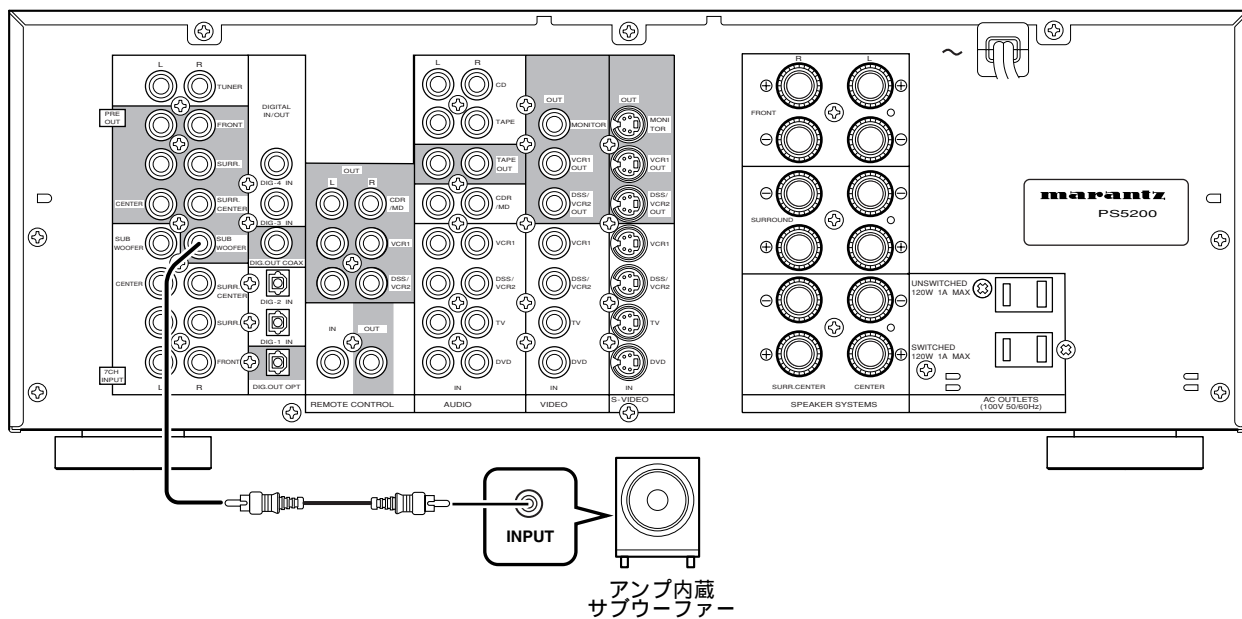
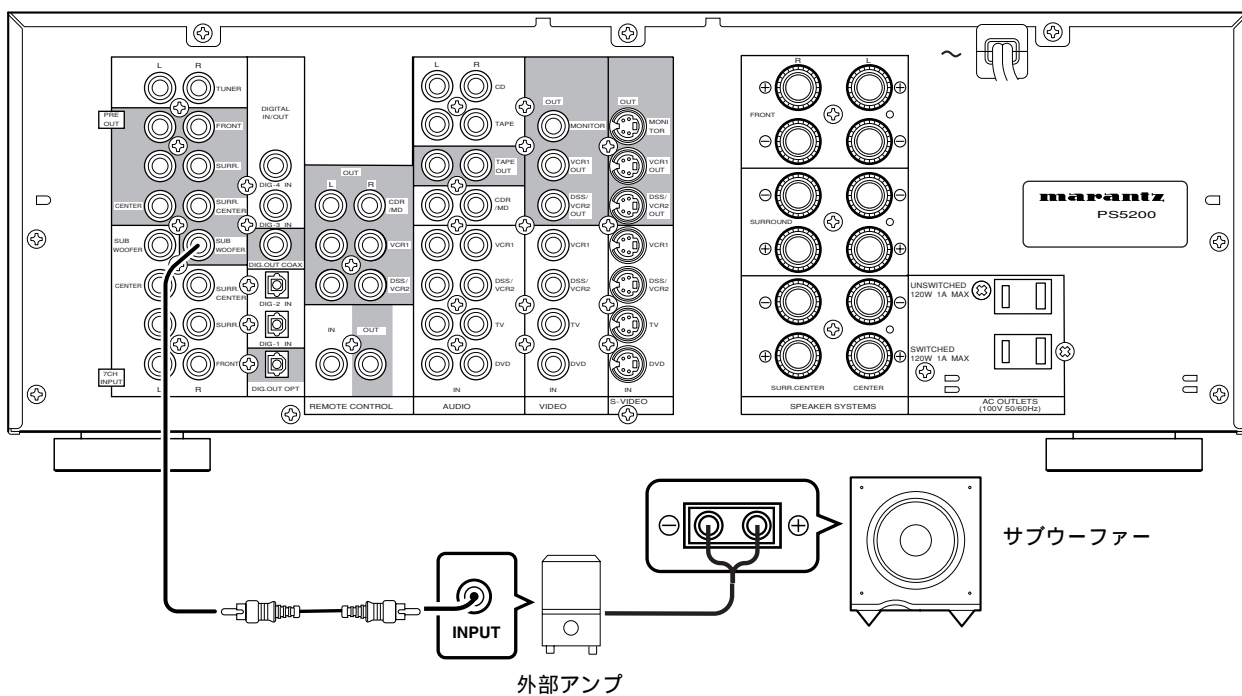
サラウンド
Rスピーカー

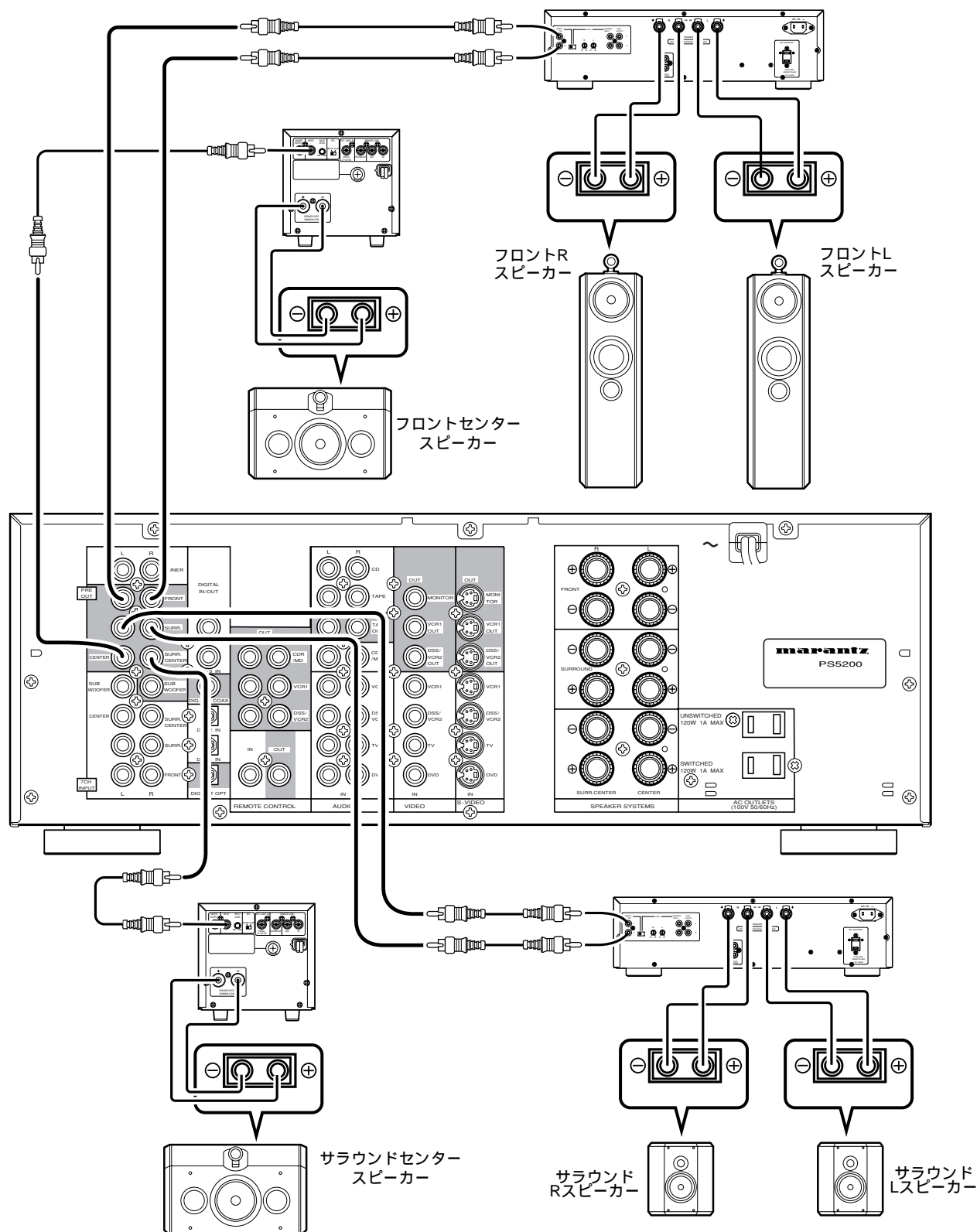
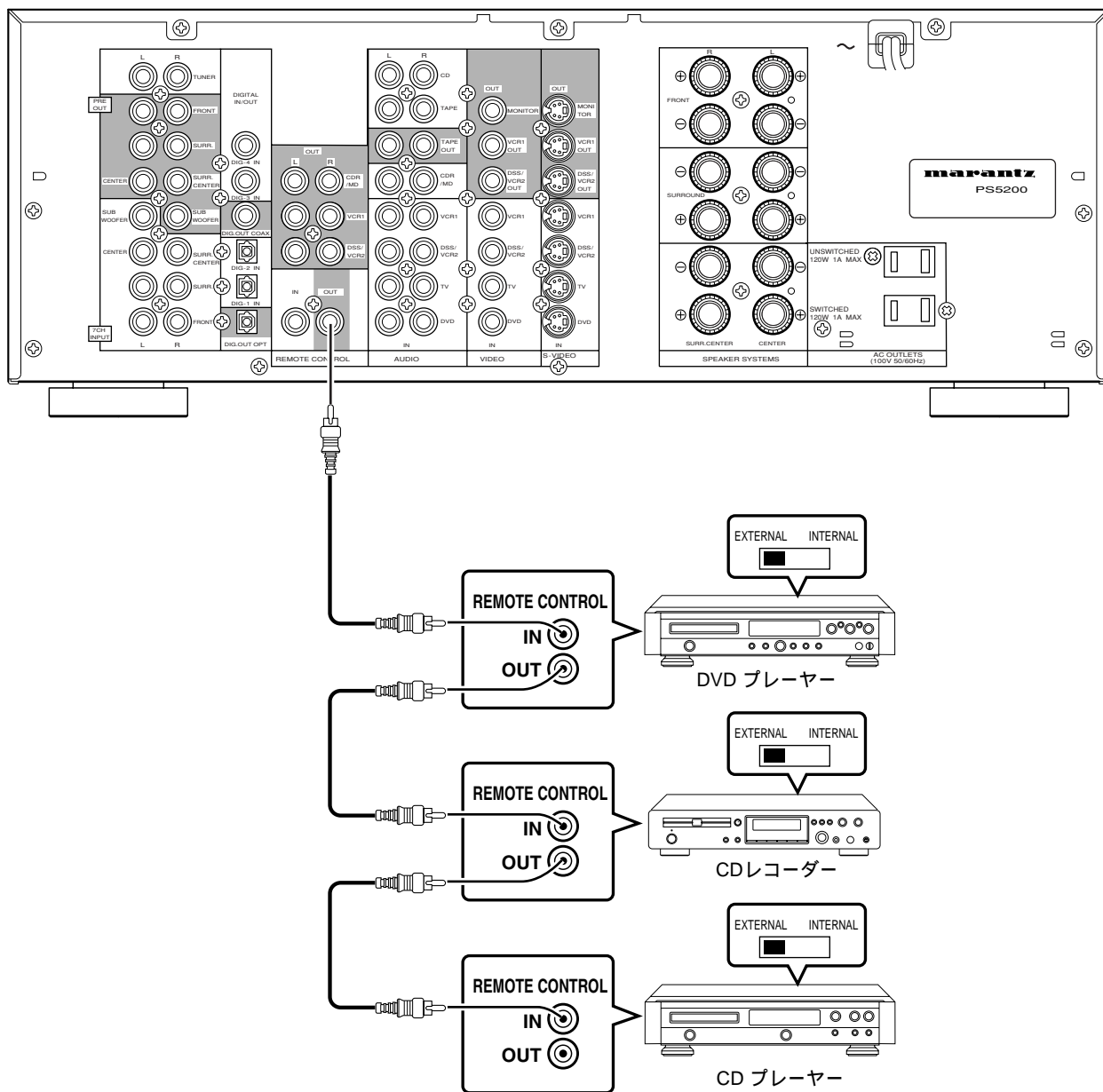
サラウンドセンター
スピーカー

フロントセンター
スピーカー

サラウンド
Lスピーカー

サブウーファーの接続

本機のサブウーファー出力にはアンプ内臓サブウーファー・スピーカーもしくは外部パワーアンプが必要です。使用するスピーカーに合わせて接続して下さい。

アンプ内臓サブウーファー・スピーカーとの接続

外部アンプ とパッシブサブウーファー・スピーカーとの接続

外部パワーアンプとの接続

各チャンネルに外部パワーアンプを使用する場合、図のように本機のプリアウトに接続して下さい。この場合各スピーカーは外部パワーアンプに接続して下さい。

リモートコントロール接続

- 本機と上図に示す様に、他のマランツ製品とリモートコントロール端子を接続することができます。この接続により、付属のリモコンにて他のマランツ製品を集中コントロールすることが可能になります。
- 本接続を行う場合は、各機器のリモートコントロールスイッチは、**EXTERNAL**（外部）に設定してください。
- 接続する各機器の取扱説明書もよくご覧になり、接続を行ってください。

電源コードの接続

電源コードについて

全ての接続が終わったら、電源プラグを家庭用AC100V(50/60Hz)のコンセントに接続して下さい。

AC アウトレットについて

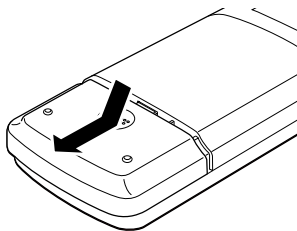
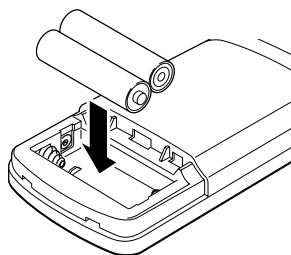
本機リアパネル上のAC OUTLETより他の音響機器に電源を供給できます。

UNSWITCHED
本機の電源オン・オフにかかわらず、電源を供給できます。
最大120Wまでの機器が接続できます。

SWITCHED
本機の電源オン・オフ(スタンバイ)に連動します。
最大120Wまでの機器が接続できます。

⚠警 告
絶対に許容電力以上の機器を接続しないで下さい。許容電力以上の機器を接続すると、火災・感電の原因となります。

リモコンの準備

1. **本機の裏面の電池フタを矢印の方向に押し下げます。**

2. **新しい単４形乾電池２本を、極性表示（+:プラスと−:マイナスの向き）に注意し、表示通りに正しくセットしてください。**

3. **電池フタを元の位置にセットし、矢印の方向へ押して閉めます。**

⚠注 意

古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。腐食の原因となることがあります。

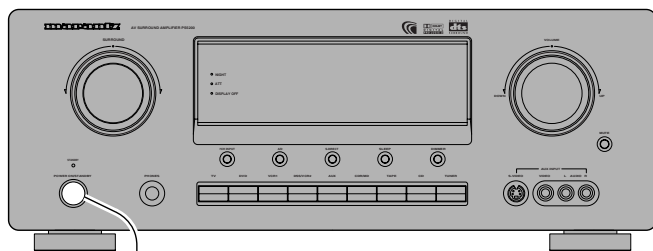
リモコンは、下図のように本機より５m以内、リモコン受光部より60°の範囲でお使いください。

セットアップ

セットアップ

全ての機器の接続が完了したら、本機のセットアップを行います。セットアップとは、接続した外部機器やスピーカーに合わせて、本機の設定を行っていくことです。

OSDメニューシステム表示

本機に接続したテレビまたはプロジェクターなどの画面を利用して本機のセットアップを行います。
このセットアップ画面をOSD(=On Screen Display；オンスクリーンディスプレー)と呼びます。この取扱説明書中では、OSDと表記しています。

1. **POWERスイッチ**

OSDメニューシステム表示の準備

1. **本機正面パネルのPOWERスイッチを押して電源を入れます。**
- STANDBYランプが消え、前面ディスプレーに、選択している入力とサラウンドモードが表示されます。

2. **本機のMONITOR出力に接続したテレビまたはプロジェクターの電源を入れます。**

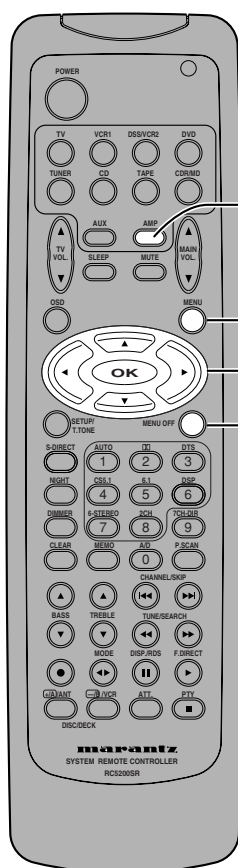
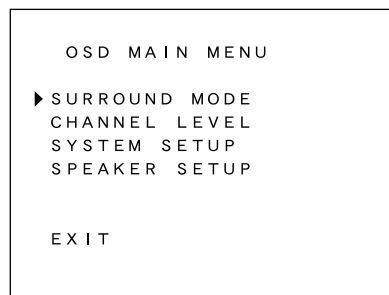
3. **本機の付属リモコンを用意してください。**

OSDメニューシステムの表示

1. **リモコンのAMPボタンを押してリモコンをアンプモードにします。**

2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

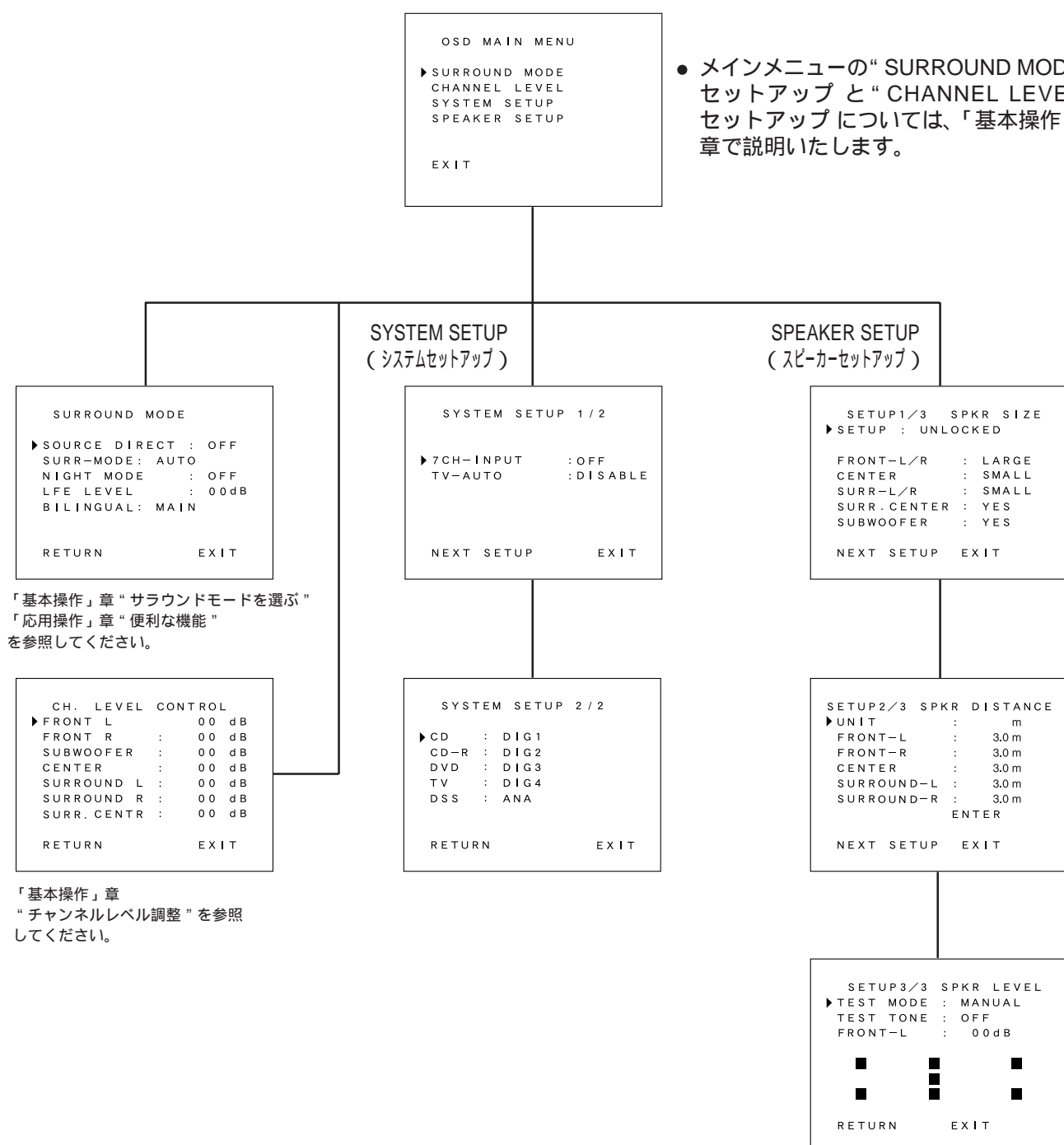
3. **下図のような画面がテレビ画面に表示されることを確認してください。**

```
 OSD MAIN MENU

▶SURROUND MODE
 CHANNEL LEVEL
 SYSTEM SETUP
 SPEAKER SETUP


 EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押して設定したい項目へ移動します。**

5. **OKボタンを押して、設定する項目を選びます。**

6. **メニューを終了させるには、リモコンのMENU OFFボタンを押します。**

メニューシステムの表示一覧

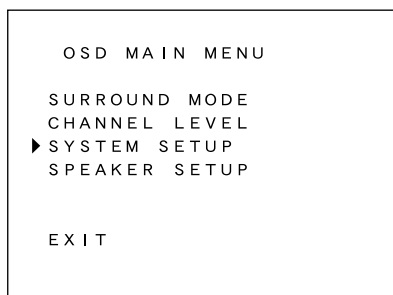
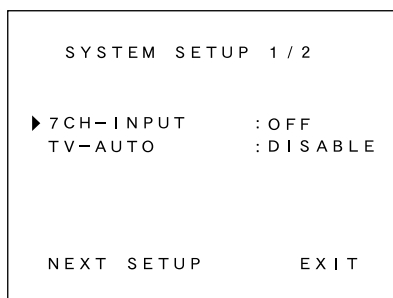
メニューシステムの構成は、以下の図のようになっています。

システムのセットアップ

システムセットアップ1/2

1. **カーソルボタン▲、▼を押して、OSD MAIN MENUのSYSTEM SETUPの項を選びます。**

```
OSD MAIN MENU

 SURROUND MODE
 CHANNEL LEVEL
▶SYSTEM SETUP
 SPEAKER SETUP

 EXIT
```

2. **OKボタンを押して決定します。**
- 画面が図のように変わります。

```
SYSTEM SETUP 1/2

▶7CH−INPUT    :OFF
 TV−AUTO      :DISABLE

 NEXT SETUP      EXIT
```

3. **▲または▼ボタンを押して設定したい項目を選び、◀、▶ボタンで設定内容を変えます。**
- **NEXT SETUP**を選び、**OK**ボタンを押すとデジタル入力設定 (システムセットアップ2／2)の画面に変わります。
- **EXIT**を選び、**OK**ボタンを押すと、メニューシステムを終了して通常動作に戻ります。

- **7CH-INPUT：ON ＞ OFF**
  ON ： 本機 背面の7CH INPUT端子を7CH 信号入力端子として使用する場合の設定です。外部デコーダーやマルチチャンネル出力対応プレーヤー(DVDオーディオ、SACD)などを接続した場合、**ON** を選んで下さい。
  OFF ： 通常のファンクションの選択をする時にはOFFにします。

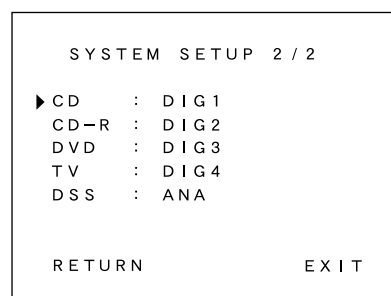
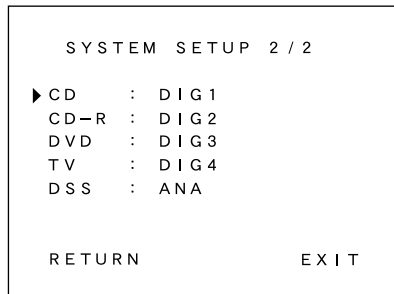
- **TV-AUTO：DISABLE＞ ENABLE**
  本機をテレビと連動させて、自動的に電源を入れたり、スタンバイにすることができます。テレビの電源を入れると本機の電源が入り、テレビの電源を切ると本機は5分後にスタンバイ状態になります。
  ◀、▶ボタンにて機能を設定してください。
  (詳細は53ページのテレビオートの項を参照して下さい。)
  ENABLE：本機能を使う場合、選んでください。
  DISABLE：本機能を使用しない場合、選んでください。

  本機能を使用する場合必ずテレビ側のVIDEO出力端子と本機のテレビ用VIDEO入力端子を接続してください。また本機の主電源を入れた状態でお使いください。テレビやテレビチューナーからのビデオ信号を本機に接続していない場合はDISABLEを選択してください。

4. **▲、▼ボタンを押しNEXT SETUPを選んで、OKボタンを押し、デジタル入力設定 (システムセットアップ 2／2)へ進んでください。**
- 画面が図のように変わります。

```
SYSTEM SETUP 2/2

▶CD   : DIG1
 CD−R : DIG2
 DVD  : DIG3
 TV   : DIG4
 DSS  : ANA

 RETURN        EXIT
```

システムセットアップ2/2

```
SYSTEM SETUP 2/2

▶CD    : DIG1
 CD-R  : DIG2
 DVD   : DIG3
 TV    : DIG4
 DSS   : ANA


 RETURN          EXIT
```

デジタル入力設定

ここでは各入力信号の再生をデジタル信号入力かアナログ信号入力のどちらで行うかを設定します。
ここでは、設定例として、DVDプレーヤーを本機のDIG-3入力端子に接続したときの説明をします。

1. **DVD：の項をカーソルボタン▲、▼で選びます。**

2. **カーソルボタン◀、▶を押しで“ DIG3 ”を選びます。**

3. **OKボタンを押して決定します。**

   - DTS信号にて録音されたCDを再生している場合、このデジタル入力設定はできません。これは、プレーヤー側からのアナログ音声出力に含まれるノイズの再生を防ぐためです。一度、CDの再生を停止した後に設定してください。
   - 何も接続されていないDIGITAL入力端子をこの画面で設定した場合、音声が出力されません。
     デジタル信号を接続していない機器は必ずアナログを設定してください。
     デジタル信号およびアナログ信号を両方接続している場合はデジタルを設定してください。本機前面パネルの**A/D**ボタンにてデジタル入力とアナログ入力の切り換えが可能になります。

4. **RETURNを選び、OKボタンを押すとOSD MAIN MENUに戻ります。**
   また、EXITを選び、OKボタンを押すと、メニューシステムを終了して通常動作に戻ります。

スピーカーのセットアップ

接続したスピーカーの大きさ、接続の有り無し、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離などを設定します。

スピーカーのサイズの設定

SETUP1/3 SPKR SIZE（スピーカーセットアップ1/3）

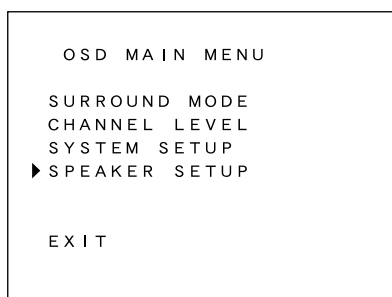
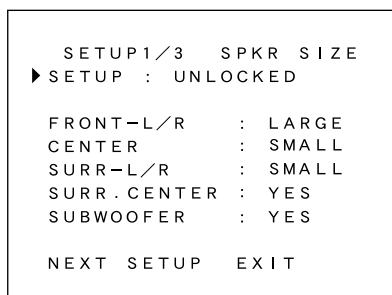
ここでは接続しているスピーカーの低音域再生能力や接続の有無などに応じて各スピーカー(チャンネル)ごとの設定をおこないます。

1. **カーソルボタン▲、▼を押してOSD MAIN MENUにてSPEAKR SETUPの項を選びます。**

```
 OSD MAIN MENU

SURROUND MODE
CHANNEL LEVEL
SYSTEM SETUP
▶SPEAKER SETUP


EXIT
```

2. **OKボタンを押して決定します。**

- 画面が図のように変わります。

```
 SETUP1/3   SPKR SIZE
▶SETUP : UNLOCKED

FRONT-L/R    : LARGE
CENTER       : SMALL
SURR-L/R     : SMALL
SURR.CENTER  : YES
SUBWOOFER    : YES

NEXT SETUP   EXIT
```

3. **▲、▼ ボタンで設定する項目を選び、◀、▶ボタンにて各種内容を設定してください。**

- **SETUP：UNLOCKED ＞LOCKED**
  ◀、▶ボタンでスピーカー設定状態を保持するか、または変更可能にするかを選んでください。
  LOCKED：スピーカー設定状態を保持する場合、LOCKEDを選んでください。
  UNLOCKED：スピーカー設定を変更可能にする場合、UNLOCKEDを選んでください。

以下の説明中に出てくる、
大型のスピーカーとは、100Hz以下の信号も再生可能な広帯域に対応したものです。
小型のスピーカーとは、重低音の再生能力が不十分なものです。

- **FRONT-L/R : SMALL ＞LARGE**
  使用するフロントスピーカーに応じて、**SMALL**または**LARGE**を◀、▶ボタンを押して選択します。
  LARGE ：フロントスピーカーに大型のスピーカーを使用する場合に選んでください。
  フロントチャンネル信号の全帯域をそのままフロントL/Rスピーカーへ出力します。
  SMALL：フロントスピーカーに小型のスピーカーを使用する場合に選んでください。
  フロントチャンネル信号の100Hz以下の低音域は、サブウーファー出力端子へ振り分けて出力されます。
  サブウーファーの設定を使用しない(NO)にしている場合、SMALLの選択はできません。

- **SUBWOOFER : YES ＞ NO**
  サブウーファーを使用する(**YES**)か、使用しない(**NO**)かを◀、▶ボタンで選んでください。
  YES：サブウーファーを使用する場合、選んでください。
  NO：サブウーファーを使用しない場合、選んでください。
  5.1CH信号に含まれているLFE信号はフロントL/Rスピーカーに振り分けられて出力されます。
  フロントスピーカーの設定をSMALLの設定にした場合、サブウーファーを使用しない(NO)の選択はできません。

- **CENTER：SMALL ＞ LARGE ＞ NO**
  使用するセンタースピーカーに応じて、**SMALL、LARGE**または**NO**を◀、▶ボタンで選んでください。
  LARGE : センタースピーカーに大型のスピーカーを使用する場合、選んでください。
  センターチャンネル信号の全帯域をそのままセンタースピーカーへ出力します。
  SMALL：センタースピーカーに小型のスピーカーを使用する場合、選んでください。
  サブウーファーの設定を使用する(**YES**)にしている場合、センターチャンネル信号の100Hz以下の低音域はサブウーファー出力端子へ振り分けて出力されます。
  サブウーファーの設定を使用しない(**NO**)にしている場合、センターチャンネル信号の100Hz以下の低音域は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。
  NO：センタースピーカーを使用しない場合、選んでください。
  センターチャンネル信号成分は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。

- **SURR-L/R：SMALL ＞ LARGE ＞ NO**
  使用するサラウンドL/Rスピーカーに応じて**SMALL**、**LARGE**または**NO**を◀、▶ボタンで選んでください。
  LARGE：サラウンドL/Rスピーカーに大型のスピーカーを使用する場合、選んでください。サラウンドチャンネル信号の全帯域をそのままサラウンドL/Rスピーカーへ出力します。
  SMALL：サラウンドL/Rスピーカーに小型のスピーカーを使用する場合、選んでください。サブウーファーの設定を使用する(**YES**)にしている場合、サラウンドチャンネルL/R信号の１００Hz以下の低音域は、サブウーファー出力端子振り分けてへ出力されます。サブウーファーの設定を使用しない(**NO**)にしている場合、サラウンドチャンネルL/R信号の100Hz以下の低音域は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。
  NO：サラウンドL/Rスピーカーを使用しない場合、選んでください。
  サラウンドチャンネル信号成分は、フロントL/Rスピーカーへ振り分けて出力されます。

- **SURR.CENTER : YES ＞ NO**
  サラウンドセンタースピーカーを使用する(**YES**)か、使用しない(**NO**)かを◀、▶ボタンで選んでください。
  YES：サラウンドセンタースピーカーを使用する場合、選んでください。
  NO：サラウンドセンタースピーカーを使用しない場合、選んでください。
  サラウンドL/Rスピーカーの設定をNOに設定した場合、自動的にサラウンドセンタースピーカーは使用しない(NO)に設定されます。

4. **▼ボタンを押して、NEXT SETUPの項を選びます。**

5. **OKボタンを押して、次画面(SETUP 2/3 SPKR DISTANCE)へ進んでください。**

スピーカーまでの距離を設定

SETUP2/3 SPKR DISTANCE （スピーカーセットアップ2/3）

この設定画面ではリスニングポジションから各スピーカーへの距離を設定します。
この設定した距離に対して、各スピーカー出力のディレイ時間が設定され、各スピーカーから聞こえる音声の到達タイミングを合わせます。

1. **▲、▼ボタンを押し、UNITの項を選択します。**

```
SETUP2/3  SPKR  DISTANCE
▶UNIT          :        m
 FRONT-L       :     3.0 m
 FRONT-R       :     3.0 m
 CENTER        :     3.0 m
 SURROUND-L    :     3.0 m
 SURROUND-R    :     3.0 m
             ENTER

 NEXT  SETUP    EXIT
```

2. **◀、▶ボタンを押し、設定する距離の単位表示をメートル(m)表示またはフィート(ft)表示に設定します。**
- **m**を設定した場合は0.3mステップで、**ft**を設定した場合は1ft間隔で各スピーカーまでの距離が設定可能です。

3. **▼ボタンを押し、FRONT-L(フロント左)を選択します。**

4. **◀、▶ボタンを押し、距離を設定します。**

5. **▼ボタンを押し、次に設定するスピーカーの項を選びます。**
- FRONT-R(フロント右)を選びます。

6. **手順*4.*と*5.*を繰り返し、FRONT-R、CENTER(センター)、SUR-L(サラウンド左)、SUR-R(サラウンド右)の距離を設定します。**

7. **全てのスピーカーの距離を設定し終わったら、▼ボタンを押し、ENTERを選びます。**

8. **OKボタンを押し、確定します。**
- **特定スピーカーまでの距離設定が異常に近すぎたり、もしくは遠すぎたりした場合、正確なディレイ時間の設定ができない場合があります。各スピーカーにおける最大ディレイ時間は**20ms**となっております。**

9. **▼ボタンを押してNEXT SETUPを選んでください。**

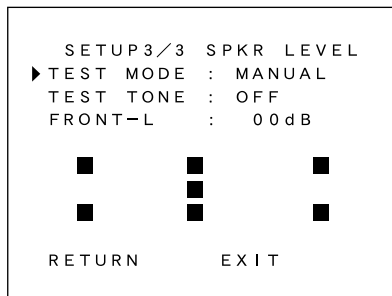
10. **OKボタンを押して、次画面(SETUP 3/3 SPKR LEVEL)へ進んでください。**

前画面スピーカーサイズ設定(SETUP 1/3)にてNOに設定されたスピーカーは、スピーカーセットアップ 2/3の画面上には表示されません。

出力レベルを均等にする

SETUP3/3 SPKR LEVEL（スピーカーセットアップ3/3）

本設定では、各スピーカーの出力レベルを均等にそろえる設定をおこないます。

1. **▲、▼ボタンを押して各設定項目を選び、◀、▶ボタンにて各設定内容を設定してください。**

- **TEST MODE：**
  テストトーンノイズの出力方法を設定します。**MANUAL**または**AUTO**を◀、▶ボタンで選んでください。
  AUTO：テストトーンノイズの出力チャンネルが自動的に
  FRONT L → CENTER→ FRONT R → SURR R → SURR CENTER →SURR L →SUBWOOFER → FRONT L
  の順番で約3秒間ごとに切り替わります。
  MANUAL：TEST TONEをONにした後、▼ボタンで“ FRONT L ”を選択します。
  OKボタンを押すごとに、テストトーンノイズの出力チャンネルが
  FRONT L → CENTER→ FRONT R → SURR R → SURR CENTER →SURR L →SUBWOOFER → FRONT L
  の順番で切り替わります。

- **TEST TONE：**
  ONまたは**OFF**を◀、▶ボタンで選んでください。
  ON：テストトーンノイズが出力されます。夜間の使用などには十分注意して下さい。
  OFF：テストトーンノイズは出力されません。

- **FRONT L、CENTER、FRONT R、SURR R、SURR CENTER、SURR L、SUBWOOFER：**
  各チャンネルの出力レベルを◀、▶ボタンで調整します。テストトーンノイズが出力されているときに、各スピーカーの出力レベルを1dBステップで調整します。
  各スピーカーの出力レベルが均等になるように調整してください。
  調整可能範囲は+15dB〜−15dBです。

2. EXIT**を選び、**OK**ボタンを押すと、メニューシステムを終了して通常動作に戻ります。**
- 以上にて初期セットアップが完了しました。

基本操作

この章では、本機をお使いになるうえで、特に基本となる項目について説明いたします。

DVDの再生例

ここでは操作例として、本機に接続されているDVDを再生するときの操作について説明します。個々の詳しい操作方法は、後のページをご覧ください。

3. サラウンドモード選択ツマミ

5. 音声調整ツマミ

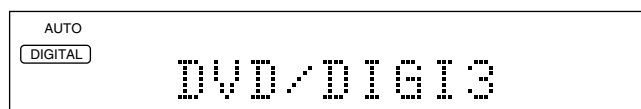
2. DVDボタン

1. POWERスイッチ

本体での操作

1. **POWERスイッチを押して、電源を入れます。**

2. **ファンクションボタン(DVD)を押して、表示部にDVDの入力表示を出します。**

AUTO
DIGITAL
DVD/DIGI3

3. **サラウンドモード選択ツマミを回して、希望のサラウンドモードにします。**

AUTO
DIGITAL
AUTO

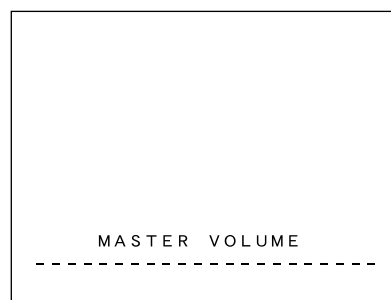
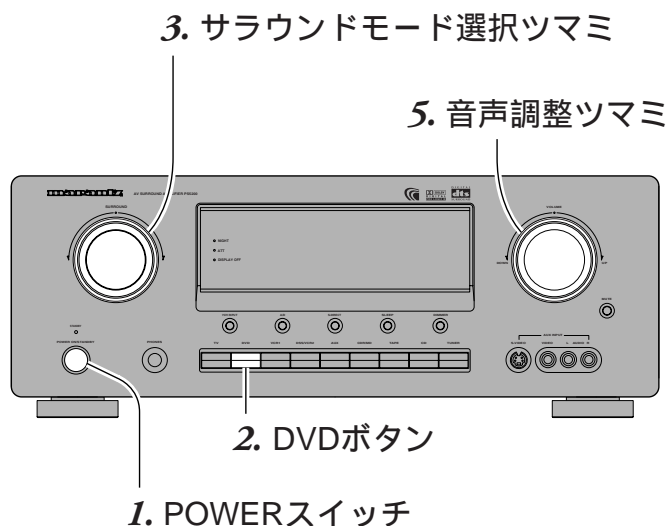
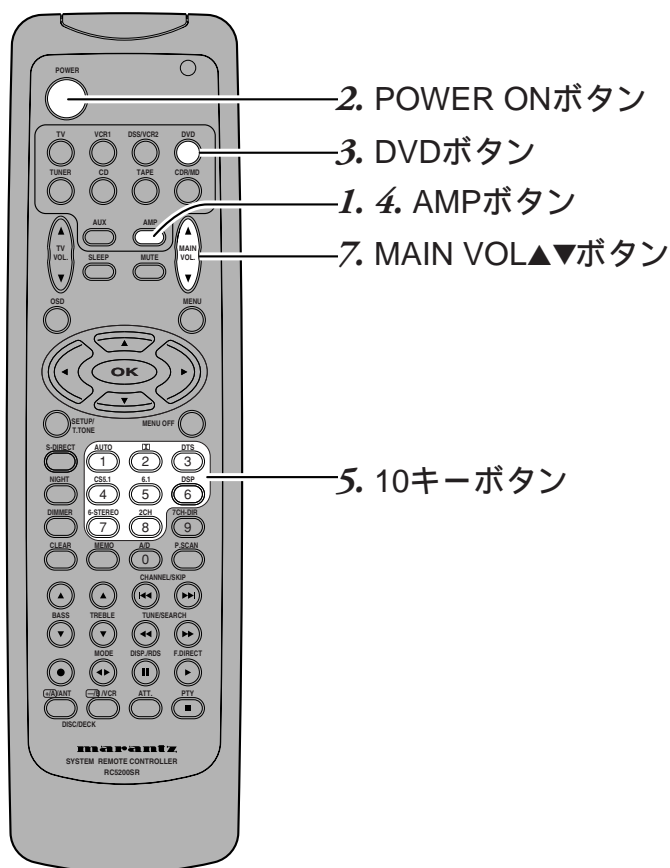
4. **DVDプレーヤーを再生状態にします。**

- お使いになるDVDプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

5. **音声調整ツマミを回し、音量を調整します。**

- 右に回すほど音量が大きくなります。
- 音量調整時には本体前面表示部およびOSDに調整レベルが表示されます。

AUTO
DIGITAL
VOLUME -75dB

MASTER VOLUME

これ以降の操作については、電源が入っている状態からの説明になります。

DVDの再生例（つづき）

リモコンでの操作

1. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

2. **スタンバイ状態を確認し、POWER ON ボタンを押します。**

3. **ファンクションボタンのDVDを２回押します。**
   - 本機の設定がDVDのモードになります。
   - ファンクションボタンを１回押したとき、リモコンの設定が選択した入力モードに変わるだけです。２回目以降から、リモコン操作の信号を送信します。

4. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

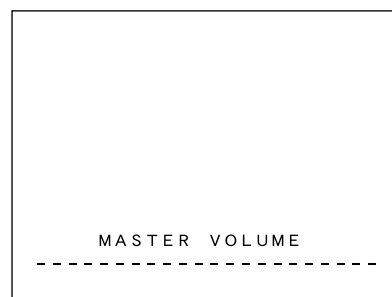
5. **10キーボタン (1〜8) を押して、希望のサラウンドモードにします。**

6. **手順3.で選んだ、機器を再生状態にします。**
   - お使いになる機器の取扱説明書を参照してください。

7. **MAIN VOL▲▼ボタンを押し、音量を調整します。**
   - 音量調整時には本体前面表示部およびOSDに調整レベルが表示されます。

AUTO
DIGITAL VOLUME -75dB

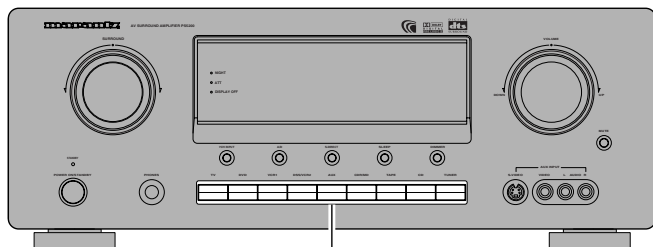
MASTER VOLUME

基本操作

基本機能について

入力の切り替え

本体での操作

1. **ファンクションボタンを押し、希望の入力に切り替えます。**

- TV、DVD 、VCR1、DSS/VCR2、AUX、CD-R/MD、TAPE、CD、TUNER、が選択できます。

リモコンでの操作

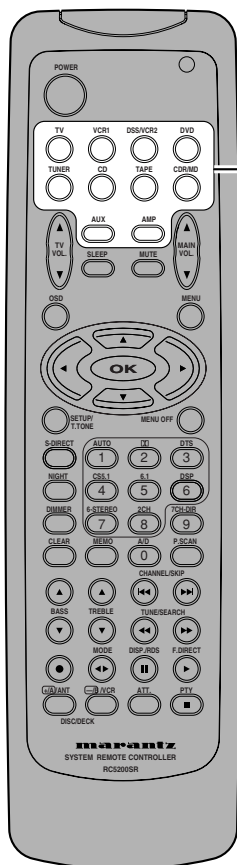
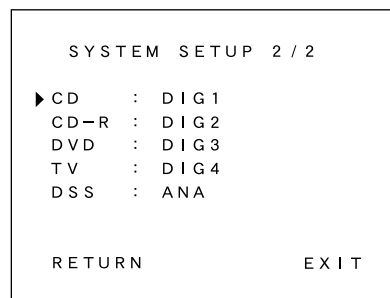
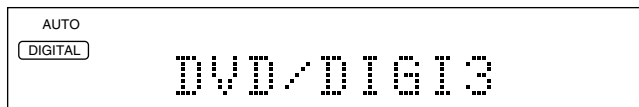
1. **希望のファンクションボタンを2回押し、本体の入力を切り替えます。**

- リモコンのファンクションボタンを１回押しただけでは、本機の入力は切り替わりません。リモコンの設定が選択した入力モードに変わるだけです。
- システムセットアップ2/2 「デジタル入力設定」において入力信号(デジタル／アナログ)が設定されます。(25ページ参照)
  例：
  DVD : DIG3が設定されている場合、DVDを選択すると前面表示部およびOSDには図のように表示されます。

AUTO
DIGITAL
DVD/DIGI3

SYSTEM SETUP 2 / 2

▶CD	:	DIG1
CD−R	:	DIG2
DVD	:	DIG3
TV	:	DIG4
DSS	:	ANA

RETURN　　　　EXIT

7CH INPUTの切り替え

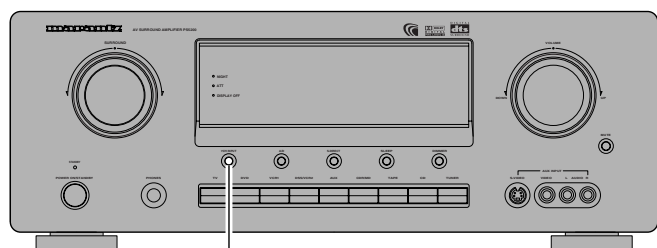
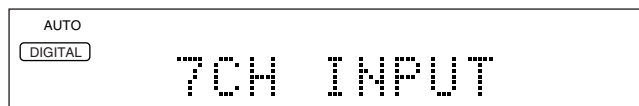
7CH INPUT 端子に外部デコーダーやマルチチャンネル出力対応プレーヤー(DVDオーディオ、SACD)などを接続して7CH信号を再生させることができます。
システムセットアップ1/2「7CH-INPUT設定」にてONに設定されている場合に有効です。この設定がOFFの場合は、7CH INPUT 端子のFRONT L、Rに接続されている信号のみ再生します。

ここでは、「7CH-INPUT設定」がONに設定されていることを前提として説明しています。

本体での操作

1. **7CH INPUTボタンを押します。**

- ボタンを押すごとに、7CH INPUT機能のON⇆OFFが切り替わります。
- 7CH INPUT機能がONであるとき、本体前面表示部に以下のような表示がでます。

AUTO
DIGITAL
7CH INPUT

1. **7CH INPUTボタン**

チャンネルレベル調整

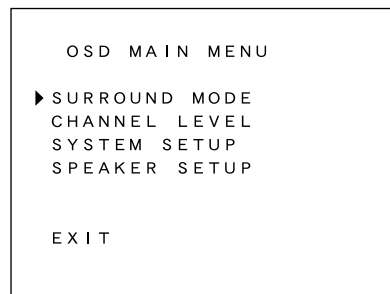
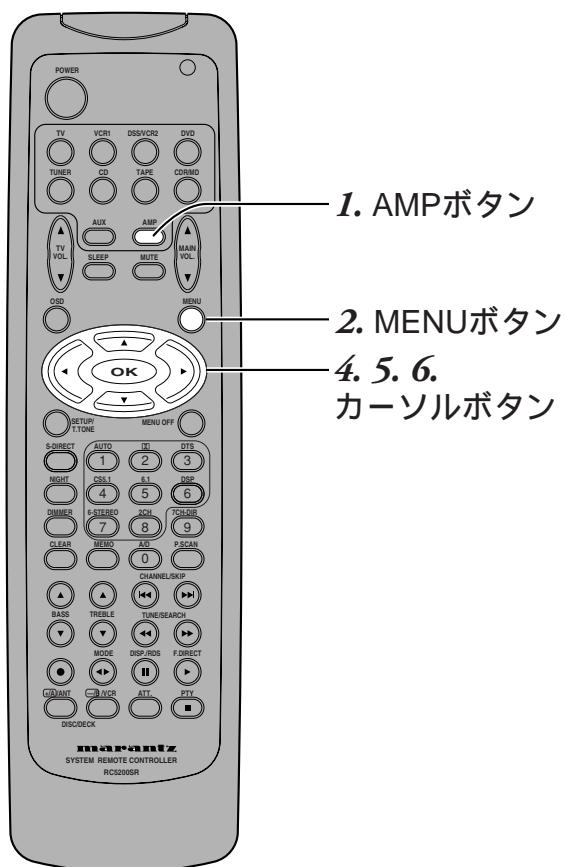
リモコンによって各チャンネルレベルを調整することができます。
この調整はOSD MAIN MENUの“CHANNEL LEVEL”にて行います。

リモコンでの操作

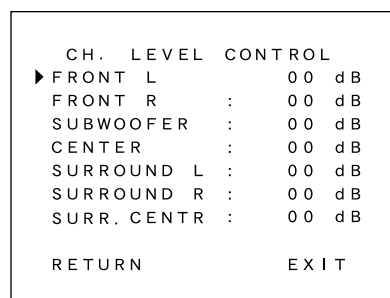
1. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

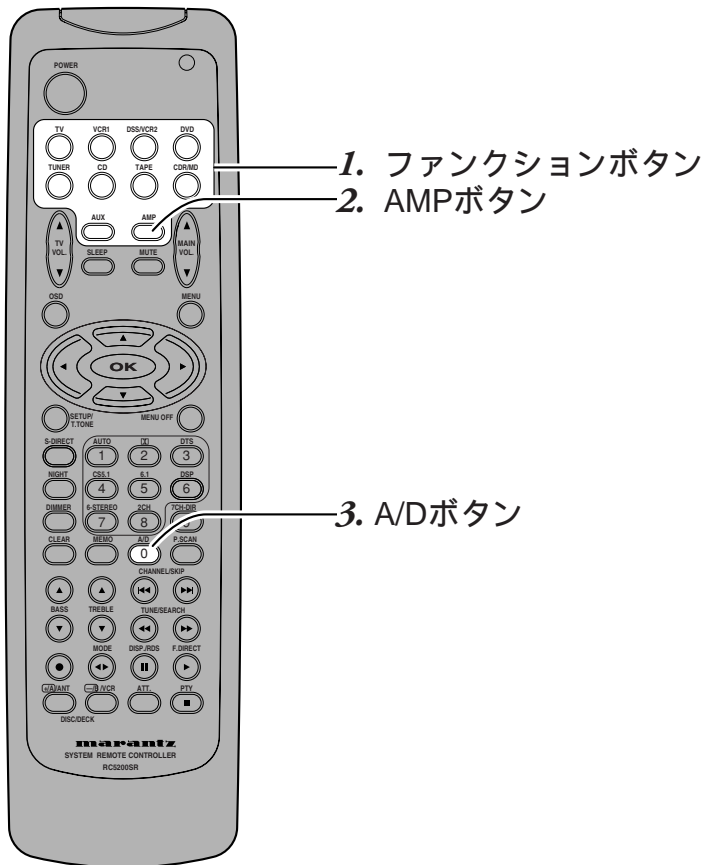
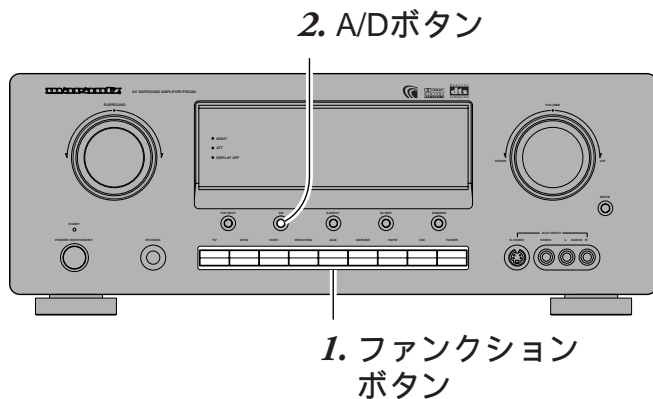
2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

3. **下図のような画面がテレビ画面に表示されることを確認してください。**

```
OSD MAIN MENU

▶SURROUND MODE
 CHANNEL LEVEL
 SYSTEM SETUP
 SPEAKER SETUP


 EXIT
```

4. **▼ボタンを押して、CHANNEL LEVELの項目を選び、OKボタンを押します。**

5. **▲、▼ボタンを押し、希望のチャンネルを選択します。**

```
CH. LEVEL CONTROL
▶FRONT L           00 dB
 FRONT R       :   00 dB
 SUBWOOFER     :   00 dB
 CENTER        :   00 dB
 SURROUND L    :   00 dB
 SURROUND R    :   00 dB
 SURR.CENTR    :   00 dB

 RETURN            EXIT
```

- スピーカーセットアップ1/3「スピーカーサイズ設定」で**NO**に設定したスピーカーは、OSDに表示されません。

6. **◀、▶ボタンを押し、レベル調整を行います。**
- 各チャンネルのレベル調整は、+15dB～－15dBの範囲で１dBステップごとに調整することができます。

デジタル・アナログ入力の切り替え

本機の入力端子にデジタル信号およびアナログ信号の両方を接続している機器がある場合、その機器に対してどちらの信号で再生するかを設定します。
この機能は、システムセットアップ2/2 「デジタル入力設定」においてDIGITALを設定している入力にのみ有効です。

本体での操作

1. **ファンクションボタンを押して、希望の入力に切り替えます。**

2. **A/Dボタンを押し、デジタル信号とアナログ信号を切り替えます。**
   - 押すごとに、入力信号がデジタル⇄アナログに切り替わります。

リモコンでの操作

1. **希望のファンクションボタンを２回押します。**

2. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

3. **A/Dボタンを一度押して、デジタル信号とアナログ信号を切り替えます。**
   - 押すごとに、入力信号がデジタル⇄アナログに切り替わります。

この設定は本体にメモリーされません。入力ファンクションを替えた場合や、一旦スタンバイ状態にした後はシステムセットアップ2/2 「デジタル入力設定」にて設定した状態に戻ります。（25ページ参照）

また、DTS信号にて録音されたCDを再生している場合、このデジタル入力設定はできません。これは、プレーヤー側からのアナログ音声出力に含まれるノイズの再生を防ぐためです。一度CDの再生を停止した後に設定してください。

サラウンドモードを選ぶ

サラウンドモードについて

本機は以下の表１に示すような多種のサラウンドモードを持っております。
各種入力信号条件によって再生状態が変わります。（表２参照）

表１

サラウンドモード	説　　明
AUTO	入力されるデジタル信号に連動し自動的に再生動作を切り替えます。 DOLBY DIGITAL,DOLBY Surround ,DTS,PCM,AAC などを検出して動作を切り替えます。 (注) DOLBY DIGITALまたはDTS, MPEG-2 AAC信号が入力された時は、入力された信号に対応したチャンネル数で再生を行います。 96kHzPCM信号入力に対してもステレオ再生可能です。
STEREO	入力信号のチャンネル数に関わらずステレオ再生をおこないます。よってたとえ5.1CH信号が入力されている場合でも、フロントL/Rへダウンミックスしての再生となります。
DD	DOLBY DIGITAL 5.1CH信号入力に対してはそのまま再生します。2CH信号入力（アナログ、デジタル両方）に対しては、ドルビープロロジックII処理を施します。
MOVIE	このモードは、ドルビーサラウンド方式で記録された映画素材の5.1CH再生に適しています。
MUSIC	このモードは、アナログまたはデジタル録音されたCDやテープまたはFMやテレビ放送などのステレオ音源を5.1CH化し再生を行います。
PRO LOGIC	このモードは、従来のドルビープロロジックをエミュレートして再生します。 (注) DTS信号や96kHzPCM信号入力に対しては出力しません。
DTS	DTS方式で記録されたDVDやCDの再生に適しています。DTS信号入力に対してのみ再生を行います。これ以外の信号入力に対しては出力しません。このモードはアナログ入力が選択されているときは使えません。
6.1CH Surround	サラウンドセンタースピーカーを使用している場合に使用可能です。 独自のマトリクス処理を5.1CH信号中のサラウンドチャンネルに施しサラウンドセンターチャンネルを生成します。 SURROUND EX や DTS-ES 処理がされたソースによりいっそうの効果を発揮します。 DOLBY DIGITAL 5.1CHおよびDTS信号入力に対して再生します。
MOVIE HALL STADIUM MATRIX	各種入力信号に応じて、独自の音場再生処理(MOVIE,HALL,STADIUM,MATRIX)を付加することにより、ホールやスタジアム、劇場等の雰囲気をかもし出します。お好みにより各モードに切り替えてご使用下さい。 (注) サンプリング周波数が、32kHz、44.1kHzまたは48kHzのPCM信号が再生できます。
VIRTUAL	2本のフロントスピーカーだけで、あたかもサラウンドスピーカーがあるようなサラウンド効果を再現します。 (注) DOLBY DIGITALおよびサンプリング周波数が、32kHz、44.1kHzまたは48kHzのPCM信号が再生できます。
6CH STEREO	2CH 信号入力に対しても独自の処理を施しマルチチャンネル再生をおこないます。 5.1CH信号入力に対してはそのまま再生します。 (注)96kHzPCM信号入力に対しては出力しません。

サラウンドモード対入力信号関係表（表２）

（1／2）

サラウンドモード	入力信号	出力					前面表示			
		L/R	SL/SR	C	SC	SW	入力表示	信号フォーマットおよびサラウンドモード	一時表示	チャンネル状態
Auto	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, AUTO	>AUTO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	-	-	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, AUTO	>AUTO>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC, AUTO	>AUTO>	L,R, SC
	96kHz PCM	O	-	-	-	-	DIGITAL	PCM, STEREO, AUTO	>AUTO>96kHz>	L,R
	PCM(Audio)	O	-	-	-	O	DIGITAL	PCM, STEREO, AUTO	>AUTO>	L,R
	Analog	O	-	-	-	O	ANALOG	STEREO, AUTO	>AUTO>	-
	DTS (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DTS, AUTO	>AUTO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(5.1)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG, AUTO	>AUTO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	-	-	-	O	DIGITAL	MPEG, STEREO, AUTO	>AUTO>	L,R
Stereo	Dolby Digital (5.1ch)	O	-	-	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, STEREO	>STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	-	-	-	O	DIGITAL	DOLBY. DIGITAL, STEREO	>STEREO>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	-	-	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, STEREO	>STEREO>	L,R, SC
	96kHz PCM	O	-	-	-	-	DIGITAL	PCM, STEREO	>STEREO>96kHz>	L,R
	PCM(Audio)	O	-	-	-	O	DIGITAL	PCM, STEREO	>STEREO>	L,R
	Analog	O	-	-	-	O	ANALOG	STEREO	>STEREO>	-
	DTS (5.1ch)	O	-	-	-	O	DIGITAL	DTS, STEREO	>STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(5.1)	O	-	-	-	O	DIGITAL	MPEG, STEREO	>STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	-	-	-	O	DIGITAL	MPEG, STEREO	>STEREO>	L,R
DD Movie	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>DOLBY D>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	L,R,SC
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>96kHz>	-
	PCM(Audio)	O	O	O	-	O	DIGITAL	PCM, DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	L,R
	Analog	O	O	O	-	O	ANALOG	DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	-
	DTS (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DTS), DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	-
	AAC(5.1)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG	>PLII MOVIE>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG, PRO LOGIC	>PLII MOVIE>	L,R
DD Music	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>DOLBY D>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	L,R,SC
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>96kHz>	-
	PCM(Audio)	O	O	O	-	O	DIGITAL	PCM, DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	L,R
	Analog	O	O	O	-	O	ANALOG	DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	-
	DTS (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DTS), DOLBY, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	-
	AAC(5.1)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG	>PLII MUSIC>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG, PRO LOGIC	>PLII MUSIC>	L,R
DD Pro Logic	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>DOLBY D>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	L,R,SC
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DOLBY, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>96kHz>	-
	PCM(Audio)	O	O	O	-	O	DIGITAL	PCM, DOLBY, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	L,R
	Analog	O	O	O	-	O	ANALOG	DOLBY, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	-
	DTS (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DTS), DOLBY, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	-
	AAC(5.1)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG	>PRO LOGIC>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG, PRO LOGIC	>PRO LOGIC>	L,R
DTS	Dolby Digital (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DTS	>DTS>	-
	Dolby Digital (2ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DTS	>DTS>	-
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DTS	>DTS>	-
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DTS	>DTS>96kHz>	-
	PCM(Audio)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DTS	>DTS>	-
	Analog	-	-	-	-	-	(ANALOG)	DTS	>DTS>	-
	DTS (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DTS	>DTS>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(5.1)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DTS	>DTS>	-
	AAC(2.0)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DTS	>DTS> -	
6.1Ch Surround	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	O	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>6.1 CH SURROUND>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL)	>6.1 CH SURROUND>	-
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL)	>6.1 CH SURROUND>	-
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM)	>6.1 CH SURROUND>96kHz>	-
	PCM(Audio)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM)	>6.1 CH SURROUND>	-
	Analog	-	-	-	-	-	(ANALOG)		>6.1 CH SURROUND>	-
	DTS (5.1ch)	O	O	O	O	O	DIGITAL	DTS	>6.1 CH SURROUND>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(5.1)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG)	>6.1 CH SURROUND>	-
	AAC(2.0)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG)	>6.1 CH SURROUND>	-
Movie Hall Stadium Matrix	Dolby Digital (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	Dolby Digital (2ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DOLBY, DIGITAL), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	PCM(Audio)	O	O	O	-	O	DIGITAL	PCM, DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	L,R
	Analog	O	O	O	-	O	ANALOG	DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	DTS (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DTS), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	AAC(5.1)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-
	AAC(2.0)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DSP SOUND	>MOVIE/HALL/ STADIUM/MATRIX>	-

点滅表示：DD、dts、PCM、Analog 、MPEGが点滅した場合、入力信号は選択されたサラウンドモードでは再生できません。他の再生可能なサラウンドモードを選択してください。
DVDディスクについて：サラウンド音声が記録されていないDVDディスクを再生しようとすると、サラウンドスピーカー、センタースピーカー、サブウーファーからは音声が出力されない場合があります。

L/R ：フロントL/Rスピーカー
LS/RS ：サラウンドL/Rスピーカー
C ：センタースピーカー
SC ：サラウンドセンタースピーカー
SW ：サブウーファー

（　）:点滅表示

サラウンドモード対入力信号関係表（表２）

（2／2）

サラウンドモード	入力信号	出力					前面表示			
		L/R	SL/SR	C	SC	SW	入力表示	信号フォーマットおよびサラウンドモード	一時表示	チャンネル状態
Virtual	Dolby Digital (5.1ch)	O	-	-	-	-	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, VIRTUAL	>VIRTUAL>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	-	-	-	-	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PROLOGIC, VIRTUAL	>VIRTUAL>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	-	-	-	-	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL, PROLOGIC, VIRTUAL	>VIRTUAL>	L,R, SC
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM) , DOLBY, VIRTUAL	>VIRTUAL>96kHz>	-
	PCM(Audio)	O	-	-	-	-	DIGITAL	PCM, DOLBY, PROLOGIC, VIRTUAL	>VIRTUAL>	L,R
	Analog	O	-	-	-	-	ANALOG	DOLBY, PROLOGIC, VIRTUAL	>VIRTUAL>	-
	DTS (5.1ch)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(DTS), DOLBY, VIRTUAL	>VIRTUAL>	-
	AAC(5.1)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DOLBY, VIRTUAL	>VIRTUAL>	-
	AAC(2.0)	-	-	-	-	-	DIGITAL	(MPEG), DOLBY, VIRTUAL	>VIRTUAL>	-
6CH Stereo	Dolby Digital (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>6CH STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	Dolby Digital (2ch)	O	O	O	O	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>6CH STEREO>	L,R
	Dolby Digital (2ch:Lt/Rt)	O	O	O	O	O	DIGITAL	DOLBY, DIGITAL	>6CH STEREO>	L,R, SC
	96kHz PCM	-	-	-	-	-	DIGITAL	(PCM)	>6CH STEREO>96kHz>	-
	PCM(Audio)	O	O	O	O	O	DIGITAL	PCM	>6CH STEREO>	L,R
	Analog	O	O	O	O	O	ANALOG		>6CH STEREO>	-
	DTS (5.1ch)	O	O	O	-	O	DIGITAL	DTS	>6CH STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(5.1)	O	O	O	-	O	DIGITAL	MPEG	>6CH STEREO>	L,C,R,SL,SR,LFE
	AAC(2.0)	O	O	O	O	O	DIGITAL	MPEG	>6CH STEREO>	L,R

点滅表示：DD、dts、PCM、Analog、MPEGが点滅した場合、入力信号は選択されたサラウンドモードでは再生できません。他の再生可能なサラウンドモードを選択してください。
DVDディスクについて：サラウンド音声が記録されていないDVDディスクを再生しようとすると、サラウンドスピーカー、センタースピーカー、サブウーファーからは音声が出力されない場合があります。

L/R ：フロントL/Rスピーカー
LS/RS ：サラウンドL/Rスピーカー
C ：センタースピーカー
SC ：サラウンドセンタースピーカー
SW ：サブウーファー

（　）:点滅表示

1. サラウンドモード選択ツマミ

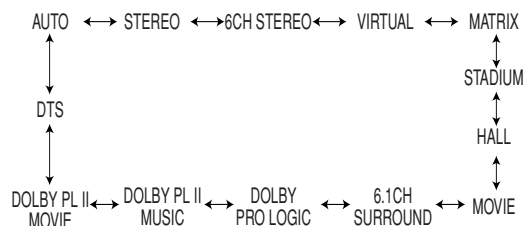
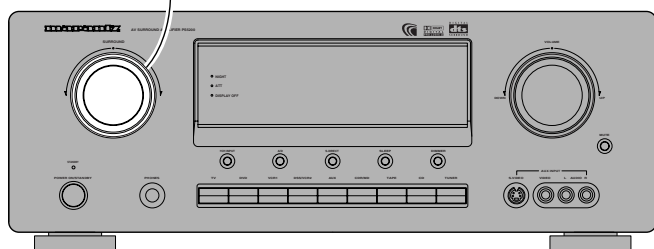
1. AMPボタン

2. 10キーボタン

サラウンドモードの選択方法

各種サラウンドモードの選択方法について説明します。

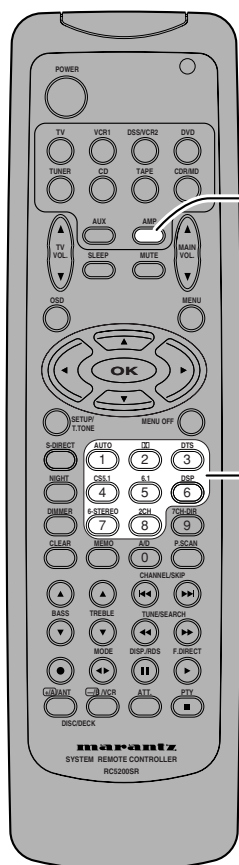
本体での操作

1. **サラウンドモード選択ツマミを回して、希望のサラウンドモードにします。**

- **AUTO：**オートモードを選択できます。
- **STEREO：**STEREOモードを選択できます。
- **6CH STEREO：**6CH STEREO モードを選択できます。
- **VIRTUAL：**VIRTUAL モードを選択できます。
- **MATRIX：**MATRIXモードを選択できます。
- **STADIUM：**STADIUMモードを選択できます。
- **HALL：**HALLモードを選択できます。
- **MOVIE：**MOVIEモードを選択できます。
- **6.1CH SURROUND：**6.1CH SURROUNDモードを選択できます。
- **DOLBY PRO LOGIC：**ドルビープロロジックモードを選択できます。
- **DOLBY PLII MUSIC：**ドルビープロロジックミュージックモードを選択できます。
- **DOLBY PLII MOVIE：**ドルビープロロジックムービーモードを選択できます。
- **DTS：**DTS モードを選択できます。

リモコンでの操作

1. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

2. **10キーボタン (1〜8) を押し、希望のサラウンドモードを選びます。**

- **AUTO：**オートモードを選択できます。
- **DD：**ドルビーサラウンドモード（DOLBY PRO LOGIC、DOLBY PLII MOVIE、DOLBY PLII MUSIC）を選択できます。
- **DTS：**DTS モードを選択できます。
- **CS.5.1：**本機では、選択できません。
- **6.1：**6.1CH SURROUNDモードを選択できます。
- **DSP：**MOVIE、HALL、STADIUM、MATRIX、VIRTUALモードを選択できます。
- **6-STEREO：**6CH STEREO モードを選択できます。
- **2CH：**STEREO モードを選択できます。

7CH INPUT、S-DIRECTを選択しているときは、サラウンドモードの変更はできません。

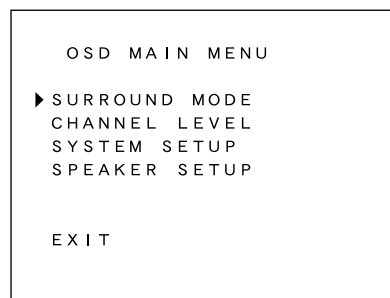
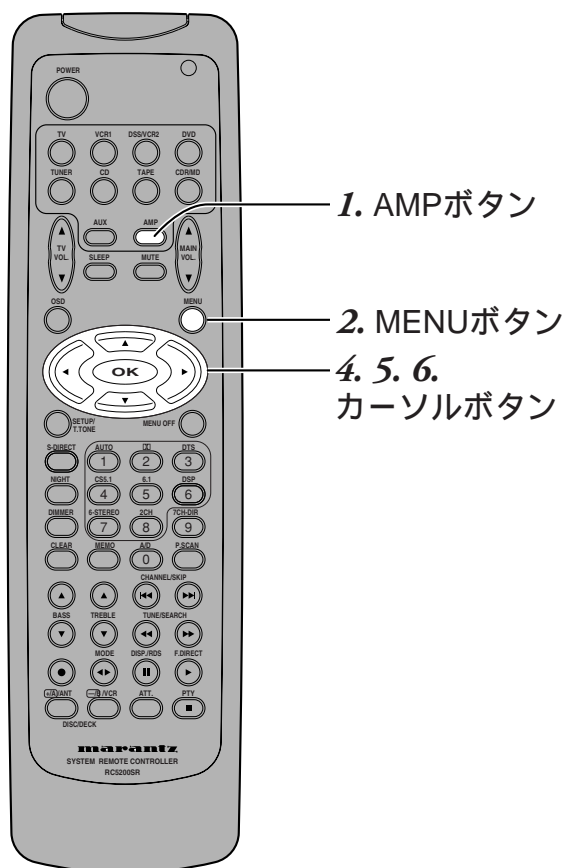
メニューシステムによる選択

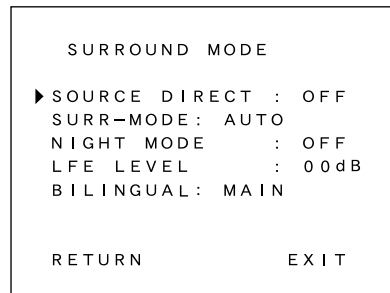
OSD MAIN MENUの“SURROUND MODE”を使用して、サラウンドモードを選択することも可能です。

1. **AMPボタンを一度押して、アンプモードにします。**

2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

3. **下図のような画面がテレビ画面に表示されることを確認してください。**

```
  OSD MAIN MENU

▶SURROUND MODE
 CHANNEL LEVEL
 SYSTEM SETUP
 SPEAKER SETUP


 EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押し、SURROUND MODEの項目を選び、OKボタンを押します。**
   - 画面が図のように変わります。

```
  SURROUND MODE

▶SOURCE DIRECT : OFF
 SURR−MODE: AUTO
 NIGHT MODE    : OFF
 LFE LEVEL     : 00dB
 BILINGUAL: MAIN


 RETURN          EXIT
```

5. **▲、▼ボタンを押してSOURCE DIRECTの項目を選び、◀、▶ボタンを押してOFFに設定します。**
   - **ON**に設定すると、ソースダイレクト機能がオンになり、SURR-MODEはAUTOになります。サラウンドモードの変更ができなくなります。

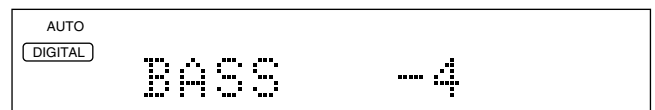
6. **▲、▼ボタンを押してSURR-MODEの項目を選び、◀、▶ボタンでモード設定を行います。**
   - 設定するサラウンドモードの種類については前ページを参照ください。

トーンコントロール

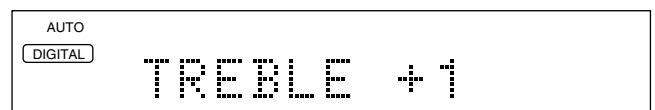
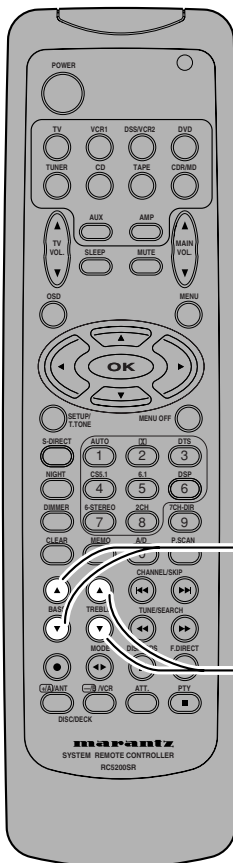
本機は出力のBASS(低音域)、TREBLE(高音域)を各々調整することができます。
それぞれ、+6dB〜−6dBの範囲で1dBステップの調整ができます。

リモコンでの操作

BASS(低音域)コントロール

1. **BASS▲ボタンまたはBASS▼を押します。**

- **BASS▲**ボタンを押すと低音域が強調されます。**BASS▼**ボタンを押すと低音域が減衰します。

TREBLE(高音域)コントロール

2. **TREBLE▲ボタンまたはTREBLE▼ボタンを押します。**

- **TREBLE▲**を押すと高音域が強調されます。**TREBLE▼**を押すと高音域が減衰します。

トーンコントロール機能は以下のサラウンドモードで働きます。

- AUTO (96kHz PCM信号、AAC信号を除く)
- STEREO (96kHz PCM信号、AAC信号を除く)
- DOLBY PRO LOGIC (AAC信号を除く)
- DTS

基本操作

応用操作

この章では、本機の応用操作、本機に接続された機器間の録画・録音の方法、その他知っておかれると、本機を便利に使いこなせる機能について説明いたします。

録音・録画をする

各端子について

本機を操作してカセットテープ、CD-R、MDなどに録音したり、ビデオに録画したりすることができます。
このため本機はTAPE OUT端子、CD-R/MD OUT端子、VCR1 OUT端子、VCR2 OUT端子を装備しております。
また、デジタル録音用のDIGITAL OUT端子としてピンプラグ(COAXIAL)形式と光形式(OPTICAL)を装備しております。
（8〜18ページ：接続図参照）

アナログ音声信号を録音する端子について

本機に装備しているTAPE OUT端子、CD-R/MD OUT端子について説明します。

デジタル信号入力だけの接続の場合、TAPE OUT端子とCD-R/MD OUT端子の出力信号は得られません。アナログ録音を行う場合は、必ずアナログ信号入力端子へアナログ信号ケーブルを接続してください。

TAPE OUT端子、CD-R/MD OUT端子
本機にて再生状態にある機器からの音声(入力)信号が、この端子にて出力されます。
例えばCDを選択して再生している場合、本機の**CDアナログ入力端子**に入力された音声(入力)信号がこの端子から出力されます。

VIDEO、S-VIDEO、アナログ音声信号を録画/録音する端子について

デジタル信号入力だけの接続の場合、VCR1 OUT端子とDSS/VCR2 OUT端子の出力信号は得られません。アナログ録画/録音を行う場合は、必ずアナログ信号入力端子へアナログ信号ケーブルを接続してください。

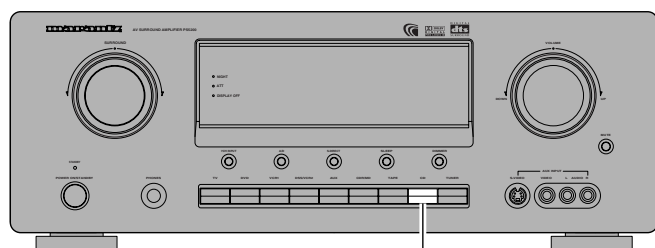
VCR1 OUT端子、DSS/VCR2 OUT端子
本機にて再生状態にある機器からの音声/画像(入力)信号が、この端子にて出力されます。
例えばDVDを選択して再生している場合、本機の**DVD(VIDEO、S-VIDEO、アナログ音声)入力端子**に入力された入力信号がこの端子から出力されます。

デジタル音声信号を録音する端子について

DIGITAL OUT (COAX,OPT) 端子：
DIGITAL COPY機能で設定した**デジタル入力信号**が、この端子にて出力されます。
アナログ入力信号をデジタル信号に変換しての出力はしません。また各種サラウンド処理を施した信号は出力しません。よってDOLBY DIGITAL、DTS信号などはMD、CD-Rに録音することができません。

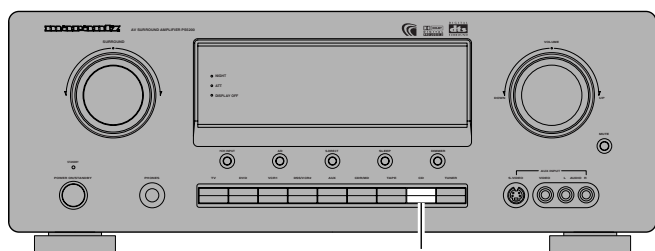
1. CDボタン

デジタル信号で録音する（デジタルコピー）

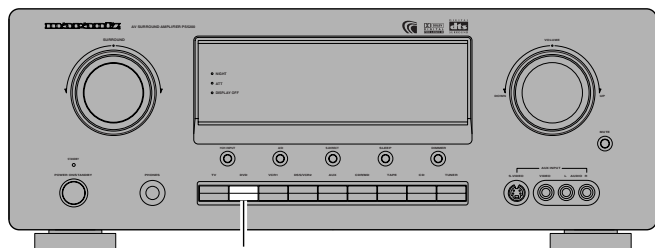
例1：CD：DIG-1入力にてCDを再生し、聴きながらMDにデジタル録音をする場合。
（接続例のようにデジタル信号が接続されている状態）

1. **ファンクションボタン(CD)を押して、CDを選択します。**
   - このときDIG-1はCDに設定済みとします。
   - デジタル出力端子には、ファンクションボタンにて選択している機器からの**デジタル入力信号**が出力されます。
2. **MDプレーヤーのデジタル入力設定をおこない、録音スタンバイ状態（シンクロREC等）にします。**
   - 詳細は、MDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。
3. **CDプレーヤーを再生します。**
   - 録音が開始されます。

1. CDボタン

アナログ信号で録音する（テープコピー）

例1：CD入力にてCDを再生し、聴きながらテープにアナログ録音をする場合。
（接続例のようにアナログ信号が接続されている状態）

1. **ファンクションボタン(CD)を押して、CDを選択します。**
2. **カセットデッキの入力設定（レベル設定等）をおこない、録音スタンバイ状態にします。**
   - 詳細はカセットデッキの取扱説明書をご覧ください。
3. **カセットデッキ録音状態にします。**
4. **CDプレーヤーを再生します。**
   - 録音が開始されます。

アナログ信号で録画/録音する（ビデオコピー）

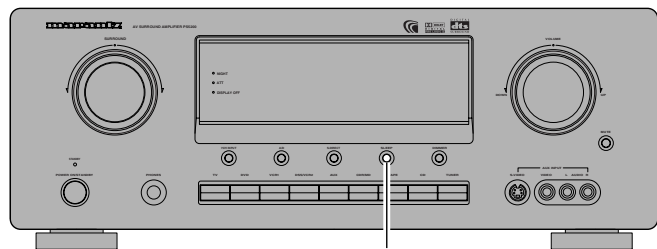
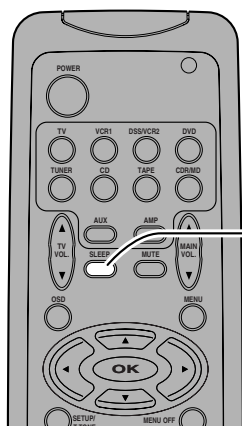
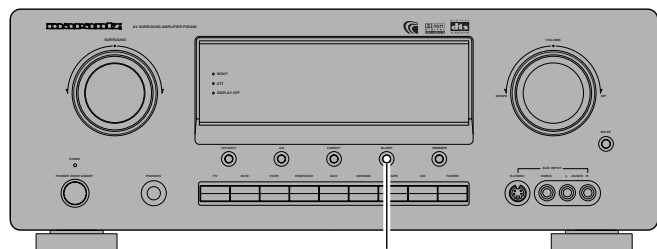
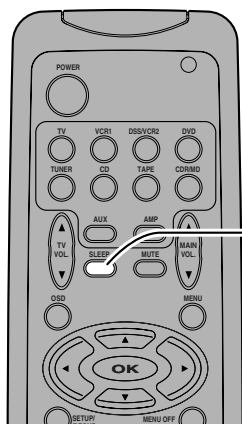
例1：DVD入力にてDVDを鑑賞しながら、ビデオテープレコーダーにアナログ録画/録音をする場合。
（接続例のようにアナログ信号が接続されている状態）

1. **ファンクションボタン（DVD）を押して、DVDを選択します。**

2. **ビデオテープレコーダーの入力設定をおこない、録画スタンバイ状態にします。**
- 詳細はビデオテープレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

3. **ビデオテープレコーダーを録画状態にします。**

4. **ビデオテープレコーダーの録画を開始させます。**
- 録画/録音が開始されます。
- 但し、コピーガードされているDVDディスクを録画することはできません。

1. **DVDボタン**

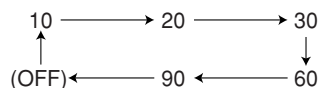
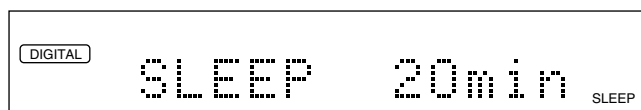
便利な機能

1. **SLEEPボタン**

1. **SLEEPボタン**

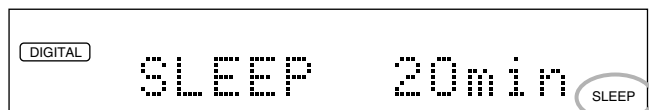
スリープタイマーを使う

設定した時間で自動的に電源がスタンバイ状態になる機能です。最大90分まで設定可能です。

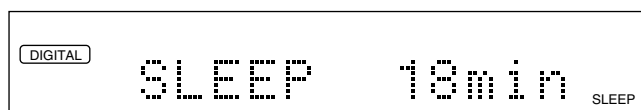
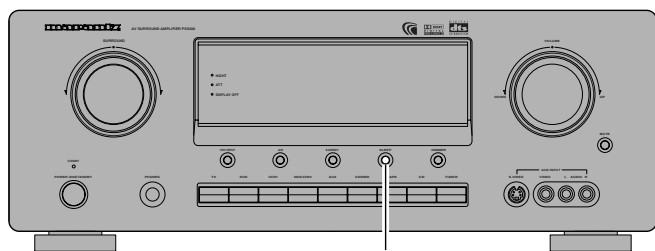
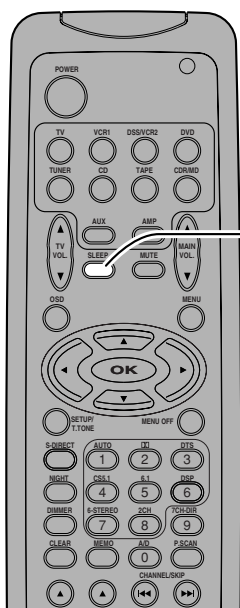
時間を設定する

1. **SLEEPボタンを何度か押し、希望の時間を表示します。**

- 押すたびに設定時間表示が変わります。この表示は電源がスタンバイ状態になるまでの時間です。

- スリープタイマー設定後は、自動的に元の表示に戻ります。
- スリープタイマー動作中は本体前面表示部に**SLEEP**が点灯します。

DIGITAL SLEEP 20min SLEEP

スリープタイマーの残り時間を確認する

1. **SLEEPボタンを押します。**

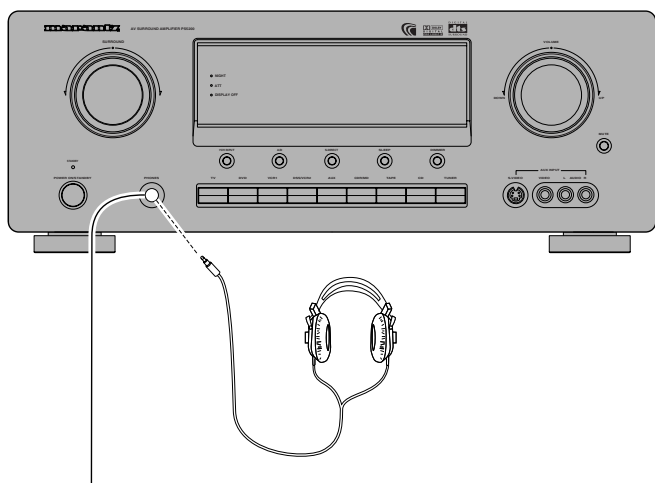
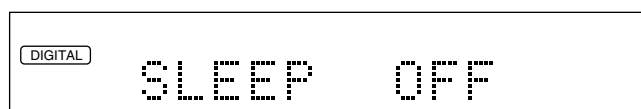
- 本体表示部に残り時間が約2秒間表示されます。

- 表示は、自動的に元に戻ります。

1. **SLEEPボタン**

1. **SLEEPボタン**

1. 2. **SLEEPボタン**

スリープタイマーの再設定/解除

1. **SLEEPボタンを押します。**
- 本体表示部に残り時間が表示されます。

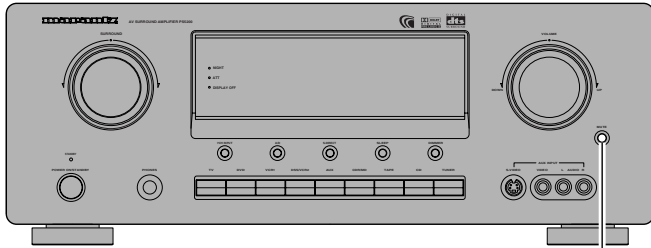
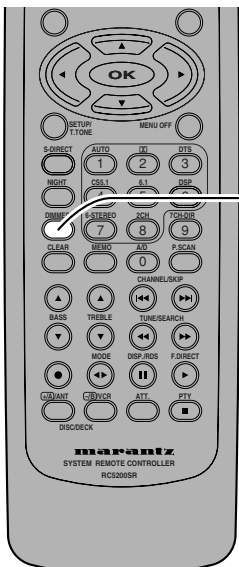
2. **残り時間が表示されている間に、SLEEPボタンを押し、再設定する時間を選択します。**
解除するときは、OFFを選択します。
- スリープが解除されると、本体前面表示部の**SLEEP**表示が消えます。

SLEEP TIMER
OFF

ヘッドホンで聞く

PHONES端子

- ヘッドホンの標準ステレオジャックをPHONES端子に接続します。
- 接続するとスピーカーからの出力は自動的に無くなります。
- サラウンドモードは自動的にステレオモードになります。サラウンドモードの切り替えは禁止されます。S-DIRECTは選択可能です。
- 深夜のプライベートリスニングの際は、ヘッドホンの使用をお勧めします。

⚠警 告

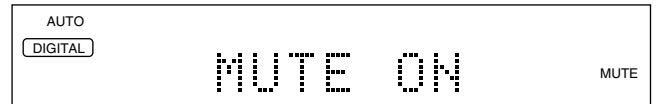
ヘッドホンの音量が大きすぎると、耳を傷めることがあります。音量が大きくならないように注意してください。

1. 2. **MUTEボタン**

1. 2. **MUTEボタン**

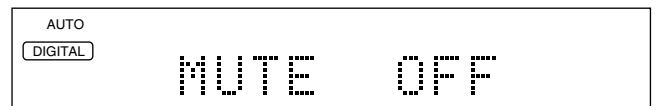
ミュート機能

本機で再生しているときに、一時的にスピーカーからの音声出力をなくすことができます。

本体/リモコンでの操作

1. **MUTEボタンを押します。**

- 本体表示部またはOSDが図のような表示になります。

2. **再度MUTEボタンを押すと、音声が出力されます。**

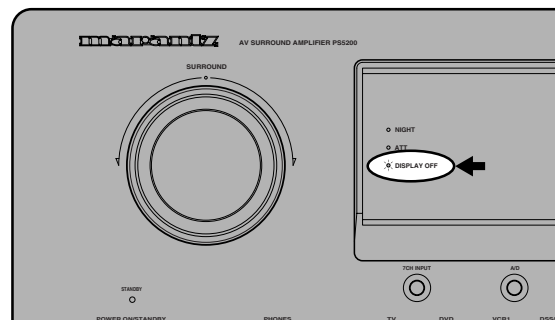
1. 2. **DIMMERボタン**

1. 2. **DIMMERボタン**

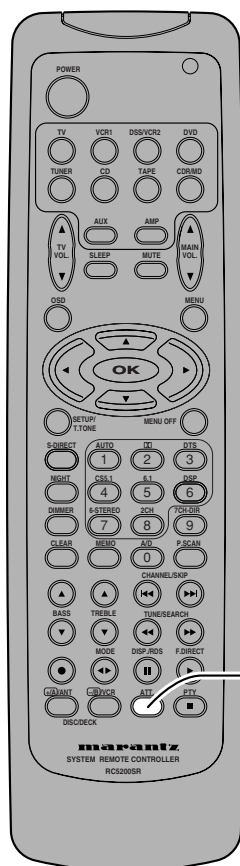
表示部の輝度調整・消灯

本機表示部の輝度を下げたり、消灯、点灯を切り換えることができます。

本体/リモコンでの操作

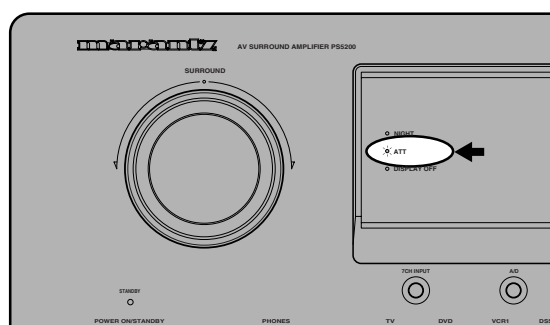
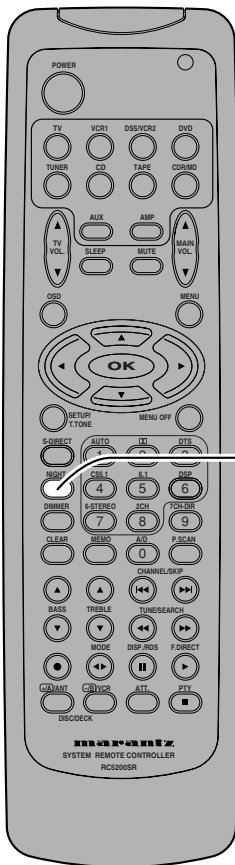
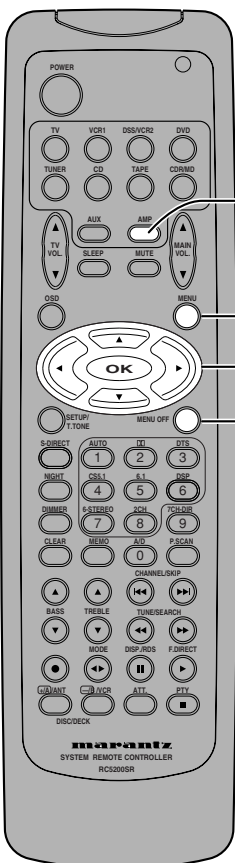
1. **DIMMERボタンを押します。**

- ボタンを押すごとに、輝度の低下→消灯→点灯の状態になります。
- 前面表示が消灯したときは、本機能が動作中であることを示す**DISPLAY OFF**が点灯します。

2. **もとの表示に戻すには、DIMMERボタンを再度押します。**

応用操作

アッテネート機能

アナログ信号入力を本機にて再生している場合、音声が歪むことがあります。
これは、本機の内部処理に対して入力信号レベルが大きすぎること意味します。このような場合に、アッテネート機能によって入力信号レベルを減衰させることができます。

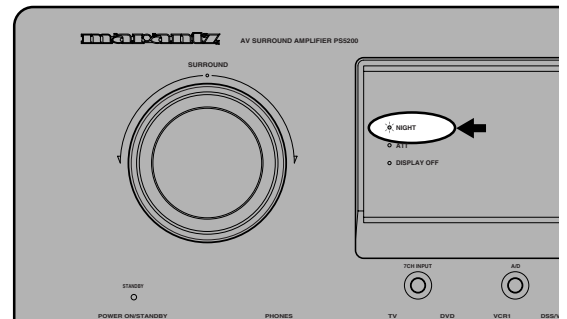
この操作は、リモコンにて行います。

1. **ATTボタンを押します。**
- 本体前面の**ATT**が点灯し、アッテネート機能状態であることを表示します。

2. **再度、ATTボタンを押し、本機能を解除します。**

ナイト(NIGHT)モード

夜間などに再生音のダイナミックレンジを押さえて、全体の音量を上げずに小さな音声を聞きやすくすることができます。本機能はリモコンにて切り換えを行います。

ナイトモードの効果は、ドルビーデジタルのソフトによって設定されています。本機能に対応していないソフトには効果がない場合があります。

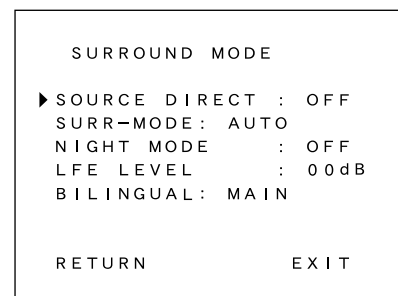
リモコンでの操作

1. **NIGHTボタンを押します。**
   - 本体前面部の**NIGHT**が点灯し、ナイトモード機能状態であることを表示します。

2. **再度、NIGHTボタンを押し、本機能を解除します。**

メニューシステムによる選択

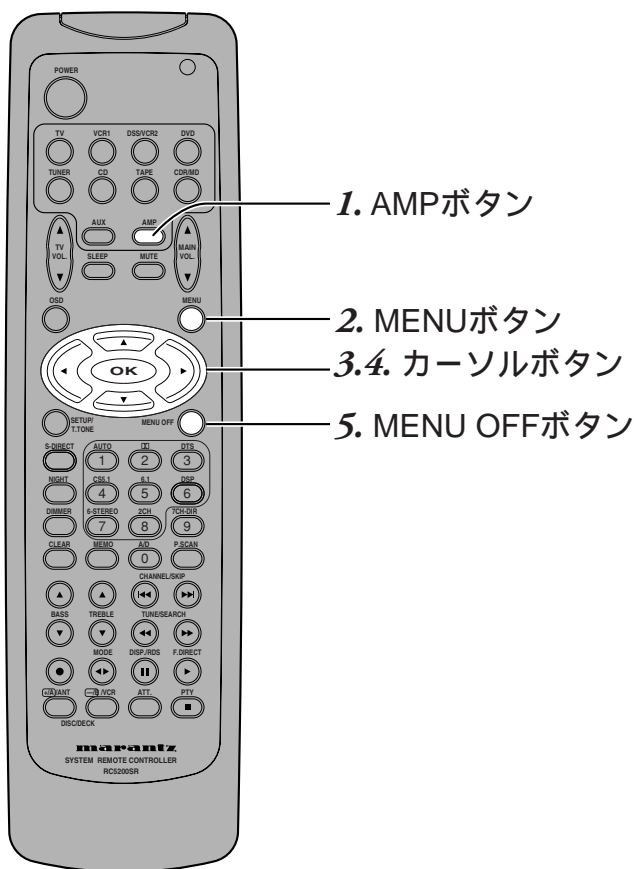
本機能はメニューシステムの“ SURROUND MODE ”でも設定することができます。

1. **リモコンのAMPボタンを押して、リモコンをアンプモードにします。**
2. **リモコンのMENUボタンを押します。**
3. **カーソルボタン▲、▼を押して OSD MAIN MENU の“ SURROUND MODE ”の項を選び、OKボタンを押します。**

```
SURROUND MODE

▶SOURCE DIRECT : OFF
 SURR-MODE: AUTO
 NIGHT MODE    : OFF
 LFE LEVEL     : 00dB
 BILINGUAL: MAIN

 RETURN           EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押してNIGHT MODEの項目を選び、◀、▶ボタンを押して設定を変えます。**
5. **リモコンのMENU OFFボタンを押し、メニューを終了させます。**

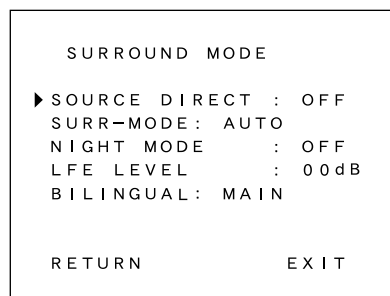
応用操作

低音域効果音信号（LFE ）レベルコントロール

お使いのスピーカーシステムと選んだサラウンドモードの組合わせにより、低音域の出力にて歪みを発生する場合があります。これは、Dolby Digital信号やDTS信号内のLFE (Low Frequency Effect)レベルが大き過ぎるためです。
このような場合、LFE信号のレベルを－10dBやOFFに設定することができます。
本機能はメニューシステムの“ SURROUND MODE ”で設定することができます。

1. **リモコンのAMPボタンを押して、リモコンをアンプモードにします。**

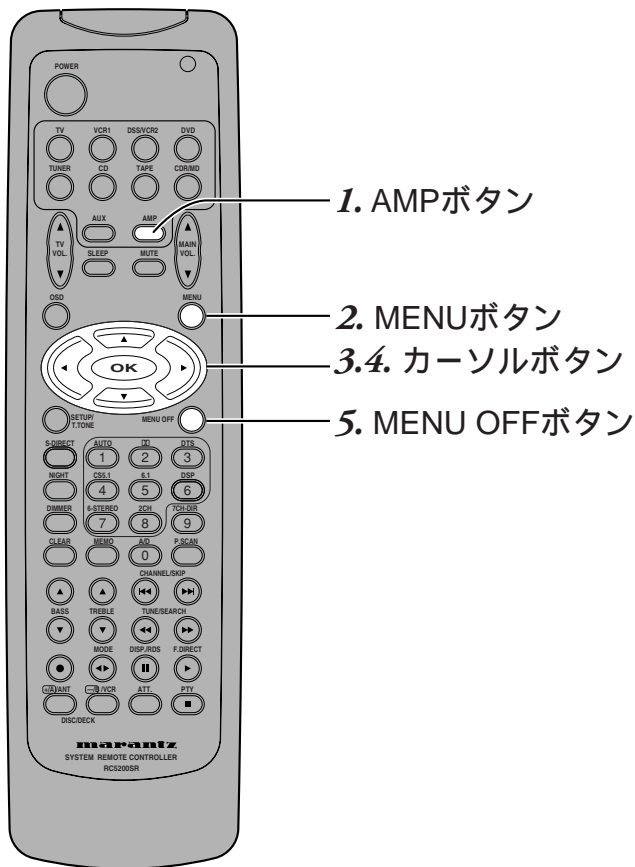
2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

3. **カーソルボタン▲、▼を押して OSD MAIN MENU の“ SURROUND MODE ”の項を選び、OKボタンを押します。**

```
  SURROUND MODE

▶SOURCE DIRECT  :  OFF
 SURR–MODE:  AUTO
 NIGHT MODE     :  OFF
 LFE LEVEL      :  00dB
 BILINGUAL:  MAIN


 RETURN             EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押してLFE LEVELの項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変えます。**

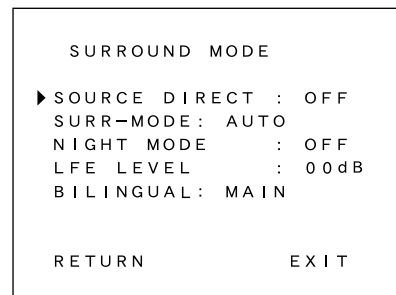
5. **リモコンのMENU OFFボタンを押し、メニューを終了させます。**

音声切換機能

BSデジタルテレビ／BSデジタルチューナーをデジタル信号接続し（テレビ／チューナーのデジタル出力をMPEG-2 AACに設定した場合）、二重音声放送受信時に主音声と副音声の出力モードを設定することができます。
本機能はメニューシステムの“ SURROUND MODE ”で設定することができます。

1. **リモコンのAMPボタンを押して、リモコンをアンプモードにします。**

2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

3. **カーソルボタン▲、▼を押して OSD MAIN MENU の“ SURROUND MODE ”の項を選び、OKボタンを押します。**

```
  SURROUND MODE

▶SOURCE DIRECT : OFF
 SURR−MODE: AUTO
 NIGHT MODE    : OFF
 LFE LEVEL     : 00dB
 BILINGUAL: MAIN


 RETURN          EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押してBILINGUALの項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変えます。**

MAIN　　　：BS主音声
SUB　　　　：BS副音声
MAIN+SUB　：BS主音声+BS副音声

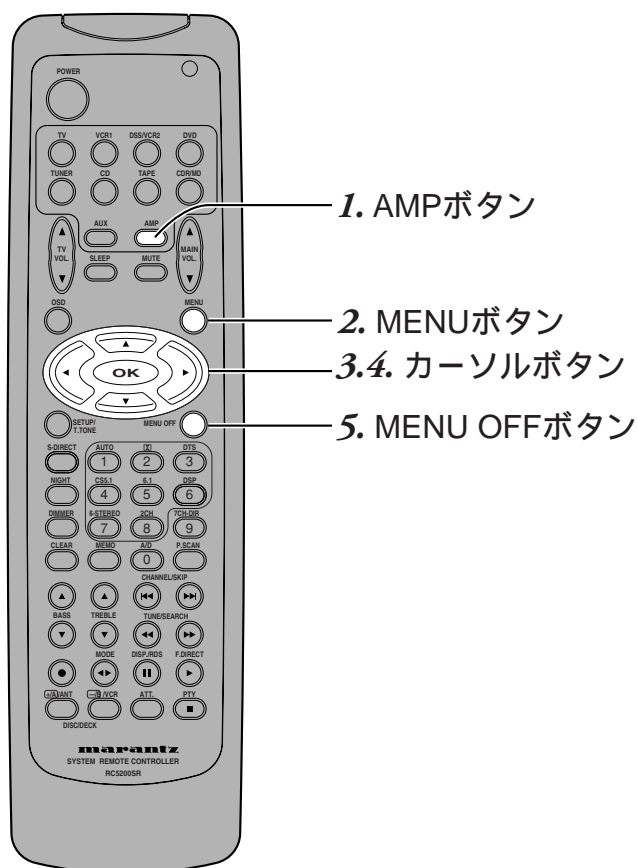
- PCM信号が入力されている場合、音声の切替はBSデジタルチューナー側の設定により決まります。BSデジタルチューナーの取扱説明書を参照ください。

5. **リモコンのMENU OFFボタンを押し、メニューを終了させます。**

応用操作

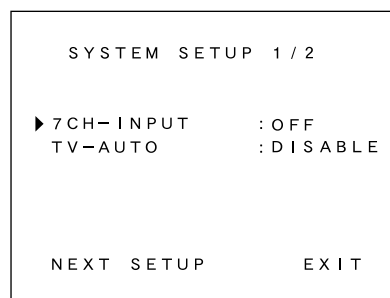
テレビオート機能（TV-AUTO ）

本機をテレビと連動させて、自動的に電源を入れたり、スタンバイにすることができます。
テレビの電源を入れると本機の電源が入り、テレビの電源を切ると本機は5分後にスタンバイになります。
本機能を使う場合は、メニューシステムのシステムセットアップ1/2にて設定を行います。

- 本機能を使用する場合、必ずテレビ側のVIDEO出力端子と本機のテレビ用VIDEO入力端子を接続してください。またはテレビ側のS-VIDEO出力端子と本機のテレビ用S-VIDEO入力端子を接続してください。

1. **リモコンのAMPボタンを押して、リモコンをアンプモードにします。**

2. **リモコンのMENUボタンを押します。**

3. **カーソルボタン▲、▼を押して OSD MAIN MENU の“ SYSTEM SETUP ”の項を選び、OKボタンを押します。**

```
SYSTEM SETUP 1/2

▶7CH－INPUT      :OFF
 TV－AUTO        :DISABLE

NEXT SETUP        EXIT
```

4. **▲、▼ボタンを押してTV - AUTOの項目を選び、◀、▶ボタンで設定します。**

ENABLE：本機能を使う場合、選んでください。
DISABLE：本機能を使用しない場合、選んでください。

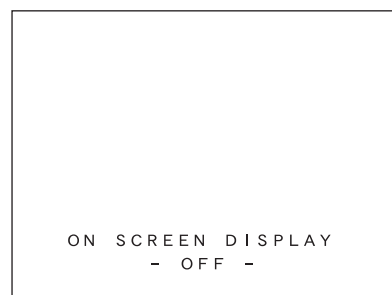
5. **リモコンのMENU OFFボタンを押し、メニューを終了させます。**

その他の機能

OSD表示のオン・オフ

テレビ等に各機器の設定状況を表示するOSD(オンスクリーンディスプレー)をオン・オフすることができます。但し、OSDをオフにしても、アンプモードにて、MENUボタン、カーソルボタン◀、▶、▲、▼もしくは**OK**ボタンが押されるとOSD MAIN MENUは表示されます。

1. **リモコンのAMPボタンを押して、リモコンをアンプモードにします。**

2. **リモコンのOSDボタンを押します。**
   - ボタンを押すごとに、オンとオフが入れ代わります。

ON SCREEN DISPLAY
- OFF -

応用操作

リモコンについて

リモコンの操作について

本機付属のリモコンは、本機に接続されているマランツ製機器を操作できるように設定されています。
また、本機付属のリモコンは、本機に接続されたマランツ製以外の機器も操作できるように、設定を変更できます。

リモコンについて

リモコンの操作について

本機のリモコンにはマランツ、フィリップスのDSS、DVD、TV、VCR、AUX、TUNER、CD、TAPE、CD-R/MD、AMPの計11種類のRC-5方式リモコンコードがプリセットされています。このリモコンでRC-5を採用しているマランツやフィリップスの機器を操作できます。

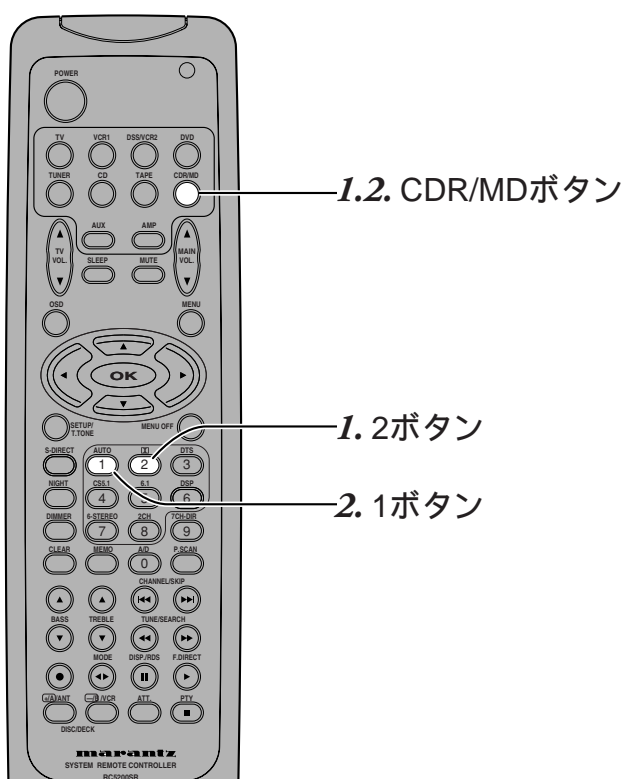
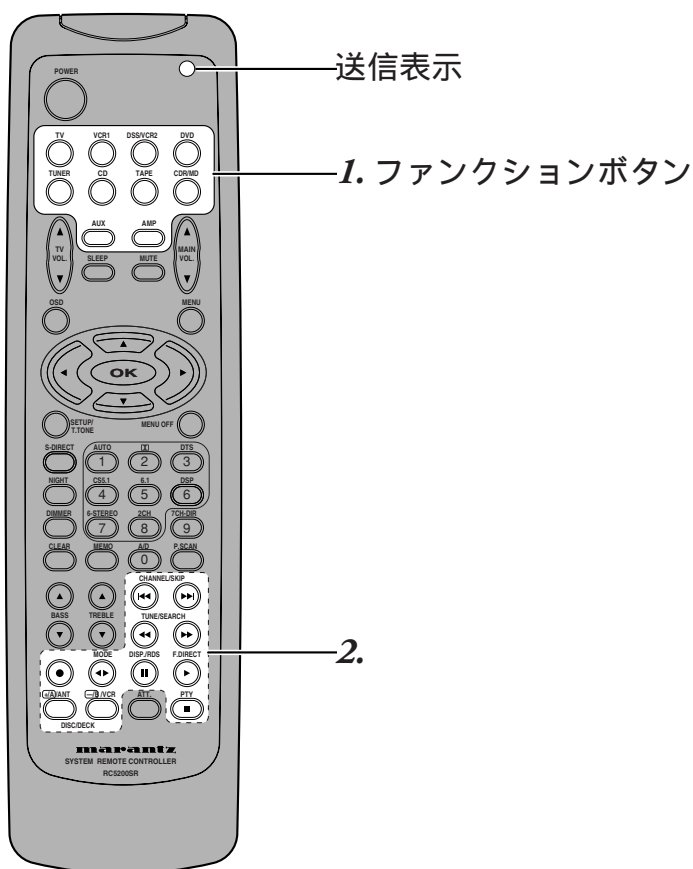
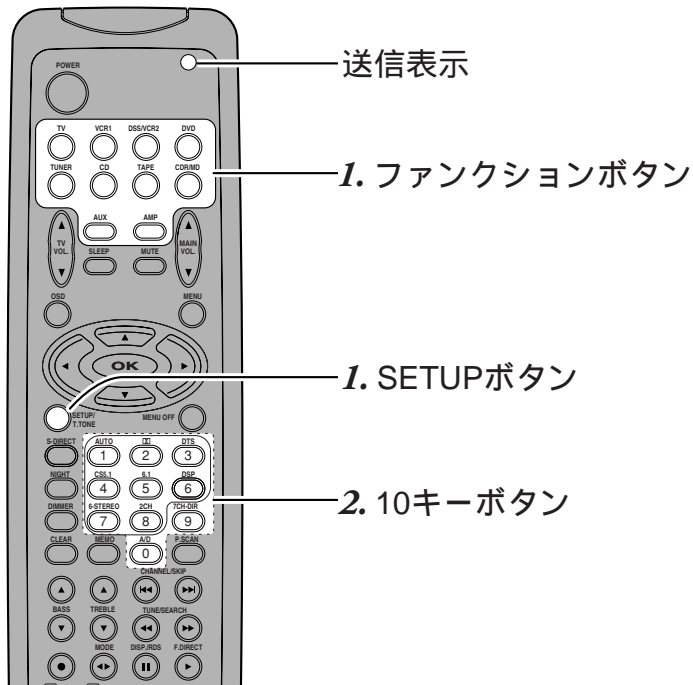
1. **ファンクションボタンを１回押します。**
- ファンクションボタンが１回押された時は、リモコン本体が押された機器の機能内容に設定されます。
- ファンクションボタンが２回押された時は、本機の機能が押された機器の機能内容に設定されます。

2. **各ボタンを押して、接続された機器を操作します。**
- リモコンコードが送信されている間は送信表示が点灯します。

CD-RとMD機能切り替え

本機のリモコンは、CD-RとMDの機能を切り替えることができます。初期状態は、CD-R機能となっています。

1. **MD機能に切り替えるには、CDR/MDボタンを押しながら、10キーボタンの２を押します。**

2. **CD-R機能に切り替えるには、CDR/MDボタンを押しながら、10キーボタンの１を押します。**

リモコンの設定変更について

本機のリモコンは、初期状態ではマランツやフィリップスの機器を操作できます。これを本機に接続された他社の機器を操作できるように変更できます。
この変更方法は、次の２つがあります。
４桁のリモコンコードを入力する方法。リモコンから送信される信号を順次変えていき、目的の信号を見つける方法。
ただし、AMPボタン、AUXボタンとTUNERボタンは変更出来ません。

コード入力による変更

４桁のリモコンコードを入力し、リモコンから送信される信号を変えることができます。より簡単に行えるこの方法で変更することをお勧めします。

1. **リモコンの送信表示が２回点滅するまで、変更したいファンクションボタンを押しながら、SETUPボタンを押します。**

2. **10キーボタンを使って、４桁のリモコンコード(後ろの‘ リモコンコード ’の項を参照)を入力します。**
- 入力が成功したときは、送信表示が２回点滅します。
- 送信表示が２回点滅しなかったときは、再度手順*1.*から行ってください。

順次信号を変更する

リモコンから送信される信号を順次変えていき、目的の信号を見つけ出します。

1. **操作したい機器の電源をいれます。**

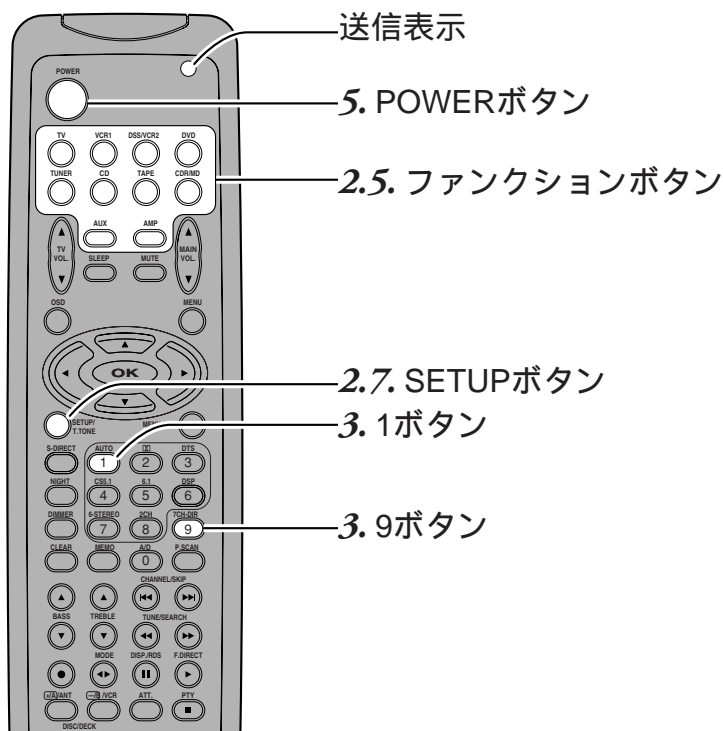
2. **リモコンの送信表示が２回点滅するまで、変更したいファンクションボタンを押しながら、SETUPボタンを押します。**

3. **10キーボタンを使って、９、９、１と入力します。**
- 送信表示が２回点滅します。

4. **リモコンを操作したい機器に向けます。**

5. **変更したいファンクションボタンを押した後、POWERボタンを押します。**
- ボタンは、ゆっくりと押してください。

6. **操作したい機器の電源が切れるまで、手順*5.*を繰り返します。**

7. **操作したい機器の電源が切れたところで、SETUPボタンを押します。**

変更したコードの確認

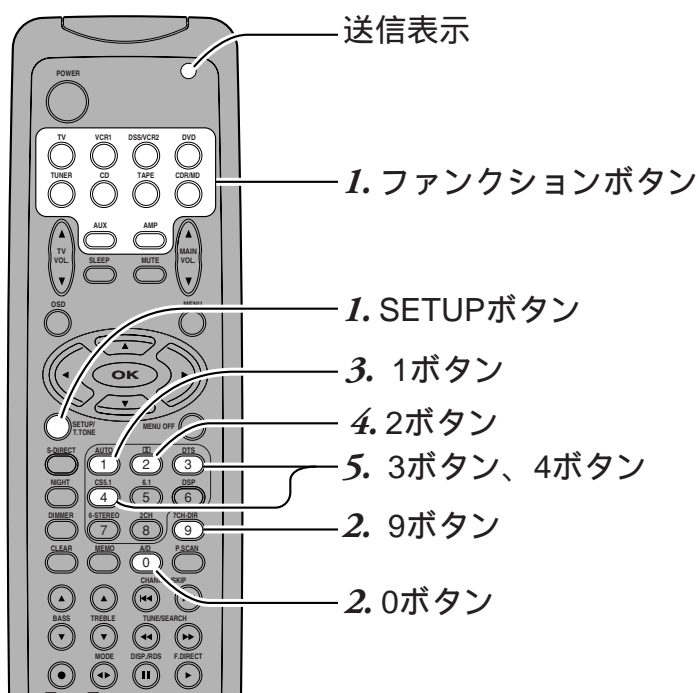
変更したコードを送信表示の点滅を利用して確認することができます。

1. **送信表示が２回点滅するまで、変更を確認したいファンクションボタンを押しながら、SETUPボタンを押します。**

2. **10キーボタンを使って、９、９、０と入力します。**
   - 送信表示が２回点滅します。

3. **コードの1桁目を確認するために、10キーボタンの１を押します。**
   - 送信表示が設定されているコードの１桁目の数だけ点滅します。
     例えば、１桁目が３の場合、送信表示は３回点滅します。
     但し、コードが０の場合は、送信表示は点滅しません。

4. **コードの２桁目を確認するために、10キーボタンの２を押します。**
   - 送信表示が設定されているコードの２桁目の数だけ点滅します。
     例えば、２桁目が５の場合、送信表示は５回点滅します。

5. **同様にして、コードの３桁目、４桁目を確認します。**

リモコンコード

CD プレーヤー

Aiwa	0151, 0184
Burmester	0447
California Audio Labs	0056, 0330
Carver	0184, 0206, 0326, 0464
DKK	0027
Denon	0030
Emerson	0332
Fisher	0201, 0206
Garrard	0420, 0447
Genexxa	0059, 0332
Harman/Kardon	0184, 0200
Hitachi	0059
JVC	0099
Kenwood	0055, 0064, 0217
Krell	0184
LXI	0332
Linn	0184
Luxman	0062, 0120, 0293, 0354, 0355, 0457, 0459, 0510, 0516
MCS	0056
MTC	0447
Magnavox	0184, 0332
Marantz	0056, 0184, 0207, 1207, 0999,
Mission	0184
NAD	0046, 0326, 0343, 0747, 0748
NSM	0184
Nakamichi	0106, 0174, 0466, 0471, 0691
Nikko	0201
Onkyo	0128
Optimus	0027, 0059, 0064, 0172, 0206, 0332, 0447, 0464, 0495
Panasonic	0056, 0330
Parasound	0447
Philips	0184
Pioneer	0059, 0271, 0332, 0495
Polk Audio	0184
Proton	0184
QED	0184
Quasar	0056
RCA	0059, 0080, 0206, 0332, 0495, 0791
Realistic	0206, 0207, 0447
Rotel	0184, 0447
SAE	0184
Sansui	0184, 0332
Sanyo	0206
Scott	0332
Sears	0332
Sharp	0064, 0207
Sherwood	0207
Sonic Frontiers	0184
Sony	0027, 0212
Soundesign	0172
Tascam	0447
Teac	0201, 0207, 0420, 0447
Technics	0056, 0330
Toshiba	0046, 0326
Victor	0099
Wards	0080, 0184
Yamaha	0063, 0214
Yorx	0488

MD プレーヤー

Denon	1900
Kenwood	1708, 1853
Marantz	1207
Onkyo	1895
Optimus	1090
Pioneer	1090
Sharp	1888
Sherwood	1094
Sony	1517
Yamaha	1915

CD レコーダー

Marantz	0999

テープデッキ

Aiwa	0056, 0224
Carver	0056
Denon	0103
Garrard	0335, 0336
Harman/Kardon	0056, 0209
JVC	0271, 0300
Kenwood	0097
Magnavox	0056
Marantz	0056
NAD	0171
Onkyo	0162, 0309
Optimus	0054, 0247
Panasonic	0256
Philips	0056
Pioneer	0054, 0126, 0247
Polk Audio	0056
RCA	0054, 0247
Samsung	0418, 0419
Sansui	0056
Sony	0197, 0270, 0318
Teac	0307, 0335, 0336, 0418, 0419
Technics	0256
Victor	0300
Wards	0054
Yamaha	0121, 0124

BS/CS チューナー

AlphaStar	0799
Echostar	0802, 1032
Expressvu	0802
General Instrument	0388, 0654, 0896
HTS	0802
Hitachi	0846
Hughes Network Systems	0776
JVC	0802
Jerrold	0388, 0654
Magnavox	0749, 0751
Memorex	0751
Next Level	0896
Panasonic	0728
Philips	0749, 0751, 1103

Primestar 0388, 0654
RCA 0170, 0419, 0593, 0882
Radio Shack 0896
Sony 0666
Star Choice 0896
Toshiba 0776, 0817
Uniden 0749, 0751
Zenith 0883

テレビ

AOC 0046, 0057
Admiral 0120, 0490
Aiko 0119
Akai 0057
Alaron 0206
Ambassador 0204
America Action 0207
Anam 0207
Audiovox 0119, 0207, 0478, 0650
Baysonic 0207
Belcor 0046
Bell & Howell 0043, 0181
Bradford 0207
Brockwood 0046
Broksonic 0263, 0490
CXC 0207
Candle 0057, 0083
Carnivale 0057
Carver 0081
Celebrity 0027
Cineral 0119, 0478
Citizen 0057, 0083, 0087, 0119
Concerto 0083
Contec 0207
Craig 0207
Crosley 0081
Crown 0207
Curtis Mathes 0043, 0057, 0074, 0078, 0081, 0083, 0087, 0120, 0172, 0181, 0193, 0478, 1174, 1374
Daewoo 0046, 0119, 0478, 0650, 0651
Daytron 0046
Denon 0172
Dumont 0044, 0046
Dwin 0747, 0801
Electroband 0027
Emerson 0046, 0181, 0204, 0205, 0206, 0207, 0263, 0490, 0650, 0651
Envision 0057
Fisher 0181
Fujitsu 0206, 0710
Funai 0206, 0207
Futuretech 0207
GE 0074, 0078, 0120, 0205, 0478, 1174, 1374
Gibralter 0044, 0046, 0057
GoldStar 0046, 0057, 0083, 0205
Gradiente 0080, 0083
Grunpy 0206, 0207
Hallmark 0205
Harley Davidson 0206
Harman/Kardon 0081
Harvard 0207
Hitachi 0043, 0083, 0172
Infinity 0081
Inteq 0044
JBL 0081
JCB 0027
JVC 0080
KEC 0207
KTV 0057, 0207
Kenwood 0046, 0057
LG 0083
LXI 0074, 0081, 0181, 0183, 0205
Logik 0043
Luxman 0083
MGA 0046, 0057, 0177, 0205
MTC 0046, 0057, 0083, 0087
Magnavox 0057, 0081, 0206, 1281
Majestic 0043
Marantz 0057, 0081, 1581
Matsushita 0277
Megatron 0172, 0205
Memorex 0043, 0083, 0177, 0181, 0205, 0206, 0277, 0490
Midland 0044, 0074, 0078
Mitsubishi 0046, 0120, 0177, 0205
Motorola 0120
Multitech 0207
NAD 0183, 0193, 0205
NEC 0046, 0057, 0083
NTC 0119
Nikko 0057, 0119, 0205
Onwa 0207
Optimus 0181, 0193, 0277
Optonica 0120, 0192
Orion 0206, 0263, 0490
Panasonic 0078, 0277
Penney 0046, 0057, 0074, 0078, 0083, 0087, 0183, 0205, 1374
Philco 0046, 0057, 0081, 0172, 0490
Philips 0081
Pilot 0046, 0057
Pioneer 0193, 0706
Portland 0046, 0119
Prism 0078
Proscan 0074
Proton 0205
Pulsar 0044, 0046
Quasar 0078, 0192, 0277
RCA 0046, 0074, 0078, 0117, 0120, 0706, 1074, 1174, 1274, 1374, 1474
Radio Shack 0046, 0057, 0074, 0083, 0181, 0192, 0205, 0207
Realistic 0046, 0057, 0083, 0181, 0192, 0205, 0207
Runco 0044, 0057, 0630
SSS 0046, 0207
Sampo 0057
Samsung 0046, 0057, 0083, 0087, 0205
Sansei 0478
Sansui 0490
Sanyo 0181
Scimitsu 0046
Scotch 0205
Scott 0046, 0205, 0206, 0207, 0263
Sears 0074, 0081, 0083, 0181, 0183, 0205, 0206
Semivox 0207
Semp 0183
Sharp 0120, 0192, 0715
Shogun 0046
Signature 0043
Sony 0027
Soundesign 0205, 0206, 0207

リモコンコード（つづき）

Starlite 0207
Supreme 0027
Sylvania 0057, 0081
TMK 0083, 0204, 0205
TNCi 0044
Tandy 0120
Technics 0078, 0277
Technol Ace 0206
Techwood 0078, 0083
Teknika 0043, 0046, 0081, 0083, 0087, 0119, 0177, 0206, 0207
Telefunken 0083
Toshiba 0087, 0181, 0183, 1283
Vector Research 0057
Victor 0080
Vidikron 0081
Vidtech 0046, 0205
Wards 0043, 0046, 0057, 0081, 0083, 0192, 0205, 0206
White Westinghouse 0490, 0650, 0651
Yamaha 0046, 0057
Zenith 0043, 0044, 0119, 0490, 0651

ビデオデッキ

Admiral 0075, 0236
Adventura 0027
Aiko 0305
Aiwa 0027, 0064
America Action 0305
American High 0062
Asha 0267
Audiovox 0064
Beaumark 0267
Bell & Howell 0131
Broksonic 0148, 0211, 0236, 0506
CCE 0099, 0305
Calix 0064
Canon 0062
Carver 0108
Cineral 0305
Citizen 0064, 0305
Colt 0099
Craig 0064, 0074, 0099, 0267
Curtis Mathes 0062, 0087, 0189
Cybernex 0267
Daewoo 0072, 0305
Denon 0069
Dynatech 0027
Electrohome 0064
Electrophonic 0064
Emerex 0059
Emerson 0027, 0064, 0070, 0148, 0211, 0236, 0305, 0506
Fisher 0074, 0131
Fuji 0062
Funai 0027
GE 0062, 0075, 0087, 0267
Garrard 0027
Go Video 0459
GoldStar 0064
Gradiente 0027
HI-Q 0074
Harley Davidson 0027
Harman/Kardon 0108
Harwood 0099
Hitachi 0027, 0069
Hughes Network Systems 0069
JVC 0094
KEC 0064, 0305
KLH 0099
Kenwood 0094
Kodak 0062, 0064
LXI 0064
Lloyd's 0027
Logik 0099
MEI 0062
MGA 0070, 0267
MGN Technology 0267
MTC 0027, 0267
Magnasonic 0305
Magnavox 0027, 0062, 0066, 0108
Magnin 0267
Marantz 0062, 0108, 1408
Marta 0064
Matsushita 0062, 0189
Memorex 0027, 0062, 0064, 0066, 0074, 0075, 0131, 0189, 0236, 0267, 0506, 1064, 1189, 1289
Minolta 0069
Mitsubishi 0070, 0075, 0094
Motorola 0062, 0075
Multitech 0027, 0099
NAD 0085
NEC 0094, 0131
Nikko 0064
Noblex 0267
Olympus 0062
Optimus 0064, 0075, 0085, 0131, 0189, 0459, 1075, 1089, 1189, 1289
Orion 0211, 0236, 0506
Panasonic 0062, 0189, 0252, 0643, 1089, 1189, 1289
Penney 0062, 0064, 0069, 0267
Pentax 0069
Philco 0062, 0236, 0506
Philips 0062, 0108, 0645, 1108, 1208
Pilot 0064
Pioneer 0085, 0094
Polk Audio 0108
Profitronic 0267
Proscan 0087
Protec 0099
Pulsar 0066
Quasar 0062, 0189, 1189
RCA 0062, 0069, 0075, 0085, 0087, 0267
Radio Shack 0027, 1064
Radix 0064
Randex 0064
Realistic 0027, 0062, 0064, 0074, 0075, 0131
ReplayTV 0641, 0643
Runco 0066
STS 0069
Samsung 0072, 0267
Sanky 0066, 0075
Sansui 0027, 0094, 0236, 0506
Sanyo 0074, 0131, 0267
Scott 0070, 0072, 0148, 0211
Sears 0027, 0062, 0064, 0069, 0074, 0131
Semp 0072
Sharp 0075
Shintom 0099
Shogun 0267
Singer 0099

Sony 0027, 0059, 0062, 1059
Sylvania 0027, 0062, 0070, 0108
Symphonic 0027
TMK 0267
Teac 0027
Technics 0062, 0189
Teknika 0027, 0062, 0064
Thomas 0027
Tivo 0645
Toshiba 0070, 0072
Totevision 0064, 0267
Unitech 0267
Vector 0072
Video Concepts 0072
Videosonic 0267
Wards 0027, 0062, 0069, 0074, 0075, 0087, 0099, 0108, 0267
White Westinghouse 0099, 0236, 0305
XR-1000 .... 0027, 0062, 0099
Zenith 0027, 0066, 0236, 0506

DVD プレーヤー

Aiwa 0668
Apex 0699
Denon 0517, 0661
Fisher 0697
GE 0549
Harman/Kardon 0609
Hitachi 0691
Hiteker 0699
JVC 0585, 0650
Kenwood 0561, 0709
Magnavox 0530, 0702
Marantz 0566
Mitsubishi 0548
Onkyo 0530, 0654
Optimus 0598
Oritron 0678
Panasonic 0517, 0659
Philips 0530, 0566
Pioneer 0552, 0598, 0659
Proscan 0549
RCA 0549, 0598
Samsung 0600
Sharp 0657
Sony 0560
Technics 0517
Theta Digital 0598
Toshiba 0530
Yamaha 0517, 0572
Zenith 0530, 0618

その他

故障かな?と思ったときは

症　状	原　因	処　置
本機の電源が入らない。	電源コードが抜けている。	電源コードを正しく接続する。
本機の電源が入っているが、映像も音声も出ない。	ミュート機能がオンになっている。 本機への入力ケーブルが正しくない。 音量ツマミが最小の方へ回しきってある。 選択したソースの機器が間違っている。	ミュート機能を解除する。 「準備と接続」の章を参考に、正しく接続する。 音量を適当な位置に調整する。 正しいソースを選択する。
スピーカーから音が出ない。	PHONES 端子にヘッドホーンが接続されている。 ミュート機能がオンになっている。	ヘッドホーンを外す。（ヘッドホーンが接続されている間は、スピーカーから音声は出ません。） ミュート機能を解除する。
選択した機器からの音声や映像が出ない。	本機への入力ケーブルが正しく接続されていない。	「準備と接続」の章を参考に、正しく接続する。
スピーカーから出る音に異常がある。	スピーカーケーブルが正しく接続されていない。	「準備と接続」の章を参考に、正しく接続する。
センタースピーカーから音が出ない。	センタースピーカーケーブルが正しく接続されていない。 サラウンドモードでSTEREOが選択されている。 セットアップでセンタースピーカーが NO に設定されている。	ケーブルを正しく接続する。 他のサラウンドモードを選択する。サラウンドモードでSTEREOが選択されている場合は、センタースピーカーから音声は出ません。 セットアップで正しい設定にする。
サラウンドスピーカーから音が出ない。	サラウンドスピーカーケーブルが正しく接続されていない。 サラウンドモードでSTEREOが選択されている。 セットアップでサラウンドスピーカーが NO に設定されている。	「準備と接続」の章を参考に、正しく接続する。 他のサラウンドモードを選択する。サラウンドモードでSTEREOが選択されている場合は、サラウンドスピーカーから音声は出ません。 セットアップで正しい設定にする。
サブウーファーから音が出ない。	セットアップでサブウーファーが NO に設定されている。	セットアップでサブウーファーをYES に設定する。
サラウンドモードが変えられない。	PHONES 端子にヘッドホーンが接続されている。 7CH INPUT, S-DIRECTを選んでいる。	ヘッドホーンを外す。（ヘッドホーンが接続されている間は、サラウンドモードはSTEREOの設定になります。） 7CH INPUT, S-DIRECTをオフにする。
DTS信号のあるCDからノイズが出る。	再生しようとする機器に対して、アナログ入力が設定されている。	再生しようとする機器がデジタル出力ができることを確認して、デジタル入力を設定する。
DTS信号のあるソースが再生できない。	サラウンドモードでDOLBYが選択されている。 CDプレーヤーがDTS信号の出力に対応していない。	他のサラウンドモードを選択する。 DTS信号の出力に対応した機器に変更する。
DTS信号のあるソースをスキップしている間に、ノイズを出す。	スキップしている間に、データーのエラーがおきる。	サラウンドモードでDTSを選択する。
96kHz PCM 信号が再生できない。	プレーヤーが96kHz PCM 信号の出力に対応していない。 サラウンドモードでSTEREOまたはAUTO以外が選択されている。	96kHz PCM 信号の出力に対応した機器に変更する。 サラウンドモードでSTEREOまたはAUTOを選択する。
CDの通常の PCM 信号が再生できない。	サラウンドモードでDTS, 6.1CH SURROUNDが選択されている。	他のサラウンドモードを選択する。
ドルビーデジタル信号が再生できない。	サラウンドモードでDTS, MOVIE, HALL, STADIUM, MATRIXが選択されている。	他のサラウンドモードを選択する。
特定のスピーカーから音が出ない。	サラウンドの信号がソースに記録されていない。	どのスピーカーを使うサラウンド信号が記録されているか、ソース側のサラウンド信号を確認する。
リモコンの表示部が出ない。	リモコンの電池が切れている。	全て新しい電池と取り替える。
リモコンを使って操作ができない。	リモコンの電池が切れている。 間違ったリモコンのボタンを押している。 リモコンと本機の間が離れ過ぎている。 リモコンと本機の間に、リモコンからの信号を妨害する物がある。	全て新しい電池と取り替える。 正しい操作のボタンを押す。 本機に近付いて、リモコンを操作する。 信号を妨害している物を取り除く。

メモリバックアップについて

本機の主電源を切った場合でも、各種設定した内容は記憶しております。しかし、通電時間の長さにより記憶保持時間が変動します。
本機の記憶保持時間は最低１週間となっております。

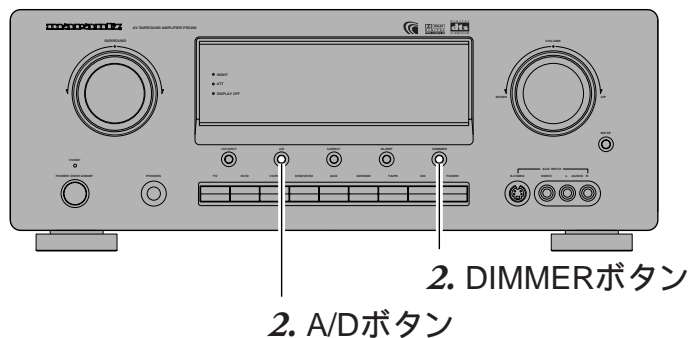
初期状態に戻すには（リセット）

「故障かな?と思ったときは」を参考にされても、不具合が解決しない場合は、本機のリセットを試みてください。
但し、リセットを行うと、以下の情報も消去されます。
プリセットに登録した内容、セット アップメニューにて設定した内容、サラウンドモードの設定。

本体での操作

1. **電源が入っていることを確認します。**

2. **A/DボタンとDIMMERボタンを同時に３秒以上押します。**

- 本機の表示部に初期状態が表示され、各種設定内容は全て初期化され、工場出荷状態に戻ります。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。お買い上げ販売店、または弊社営業所で保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または弊社営業所・サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障と思ったときは」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1）品 名　AV サラウンドアンプ

2）品 番　PS5200

3）お買上げ日　年　月　日

4）故障の状況　（できるだけ具体的に）

5）ご住所

6）お名前

7）電話番号

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕　様

アンプ部

実用最大出力 (6Ω／EIAJ)
- フロント(L, R) .... 135 W
- センター(フロント, サラウンド) .... 135 W
- サラウンド(L, R) .... 135 W

定格出力 (8Ω／20 Hz - 20 kHz)
- フロント(L, R) .... 90 W
- センター(フロント, サラウンド) .... 90 W
- サラウンド(L, R) .... 90 W

全高周波歪率 (20 Hz - 20 kHz) .... 8 Ω 0.05 %
入力感度／入力インピーダンス .... 340 mV/ 47 Kohms
Ｓ/Ｎ比 .... 105 dB

デコーダー部

再生対応信号フォーマット
........PCMオーディオ(fs=32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHz)、DOLBY DIGITAL、DTS 、MPEG2 AAC
周波数範囲(アナログ入力／Source Direct) .... 8 Hz - 100 kHz (±3 dB)
(デジタル入力／96 kHz PCM) .... 8 Hz - 45 kHz (±3 dB)

ビデオ部

信号方式 .... NTSC
入力レベル／入力インピーダンス .... 1 Vp-p/75 Ω
出力レベル／出力インピーダンス .... 1 Vp-p/75 Ω
周波数特性 .... 5 Hz to 8 MHz (ー 1 dB)
Ｓ/Ｎ比 .... 60 dB

総合

電源電圧 .... AC 100 V 50/60 Hz
消費電力(ステレオ定格出力／スピーカー負荷８Ω) .... 310 W
最大外形寸法
- 幅 .... 440 mm
- 高さ .... 164 mm
- 奥行き .... 400 mm
- 質量 .... 12.9 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

さくいん

日本マランツ株式会社

本　　社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7ー35ー1

お問い合わせは日本マランツ(株)お客様ご相談センターで承っております。

お客様ご相談センター　〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南1-11-9

電話（03）3719-3481

ご相談受付時間　9:30〜12:00、13:00〜17:00
（土・日・祝日、弊社休日を除く）

修理に関しましては下記日本マランツ(株)各サービスセンター、各営業所で承っております。

国内営業本部	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3719-2233
札幌営業所	〒060-0032	北海道札幌市中央区北二条東7-82	電話(011)231-5776
仙台営業所	〒982-0011	宮城県仙台市太白区長町6-8-40	電話(022)308-3566
東京マランツ営業所	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3793-5721
神奈川営業所	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-1245
名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-75	電話(052)776-5073
大阪営業所	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6504
広島営業所	〒732-0814	広島県広島市南区段原南2-12-27	電話(082)262-1265
福岡営業所	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町1-18	電話(092)441-9131
東京サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-0762
大阪サービスセンター	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-31	電話(06)6337-6699

Printed in Korea　　2001/08 MITf 341W851110